

2023年度まちづくりネットモニター第7回調査結果 テーマ「郡山市の上下水道」



郡山市の上下水道事業について、水道水、料金、施設整備状況等に関する市民の皆さまのニーズを把握し、効率的経営の実現及びお客様サービス向上等の参考とするため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。

【参考】郡山市ウェブサイト「郡山市上下水道局」<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/jougesuidou/>
(上下水道局経営管理課)

【調査概要】

- 調査期間 2023年8月2日(水)～8月11日(金) 10日間
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を返信
- モニター数 397名 (男性172名 女性225名)
- 回答者数 346名 (男性156名 女性190名)
- 回答率 87.2%

【分析】

《回答者内訳》

《回答者内訳(人)》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	全体
男性	0	6	7	33	44	24	28	13	1	156
女性	1	9	32	62	48	32	6	0	0	190
合計	1	15	39	95	92	56	34	13	1	346

《第1章 郡山市の水道水について》

- ・水道水に対して最も重視するものとしては、全体の80.3%が「安全性」と回答。(問1)
- ・水道水の放射性物質モニタリング検査について、今後も継続を望む方は85.8%であった。(問3)
⇒2022年度の調査と比較し、3.4ポイント減少したが、依然として高い数値で推移している。

《第2章 料金等について》

- ・郡山市の水道料金について、全体の61.8%が「高い」又は「やや高い」と回答。(問4)
- ・郡山市の下水道使用料について、全体の61.6%が「高い」又は「やや高い」と回答。(問5)
- ・水道施設の更新に関する認知度について、全体の73.1%が「知らない」と回答。(問7)

《第3章 内水ハザードマップについて》

- ・内水ハザードマップの認知度について、全体の58.7%が「知っている」と回答。一方で全体の36.7%が「洪水ハザードマップは知っているが、内水ハザードマップは知らない」と回答。(問12)

《第4章 せせらぎこみちについて》

- ・せせらぎこみちについて、全体の61.3%が「利用したことがある」と回答。(問16)
- ・せせらぎ水路について、全体の52.6%が「常に流れていてほしい」又は「可能な限り流れていてほしい」と回答。(問18)
- ・せせらぎ水路の今後の在り方について、全体の52.6%が現状を「維持する」と回答。(問19)

【考察】

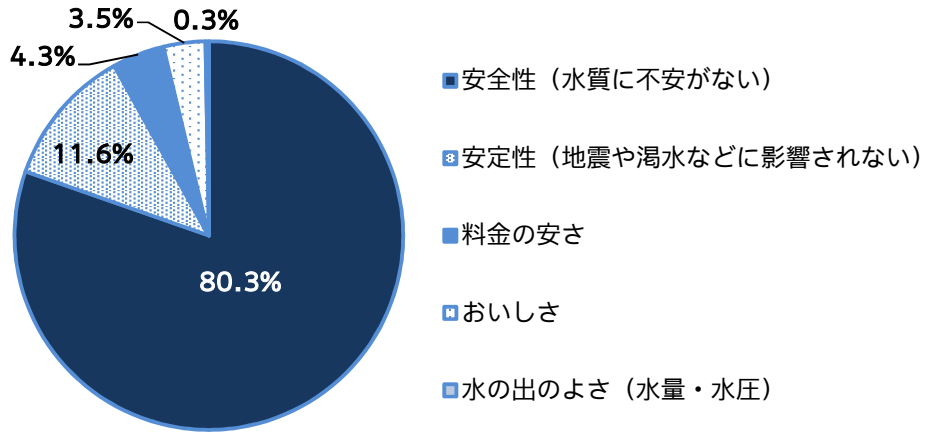
- ・水道水の「安全性」について市民の皆さまの関心度が高いこと、及び放射性物質モニタリング検査の継続要望が高いことから、水道水の水質を今後も安全に継続確保していくことが重要である。
- ・水道料金及び下水道使用料について高いと回答する割合が高いため、金額の算定方法、料金の使い道、他の自治体との比較等についてPRしていく必要がある。
- ・内水ハザードマップについて、さらなるPRを図るとともに使い方の周知についても併せて検討する。
- ・せせらぎこみちについては、維持を望む声が高い回答結果を踏まえ、今後の在り方について検討する。
- ・安全な水道水が随時提供されることを期待する声が高い中で、水道料金の半分が水道施設の更新に使われていることを知らないと回答する割合が高く、今後も安定的に安全な水の供給を実現するためには施設更新が重要であるということについてPRしていく必要がある。

※割合（％）は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100％にならない場合があります。
 ※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、すべての比率を合計すると100.0％を超えることがあります。

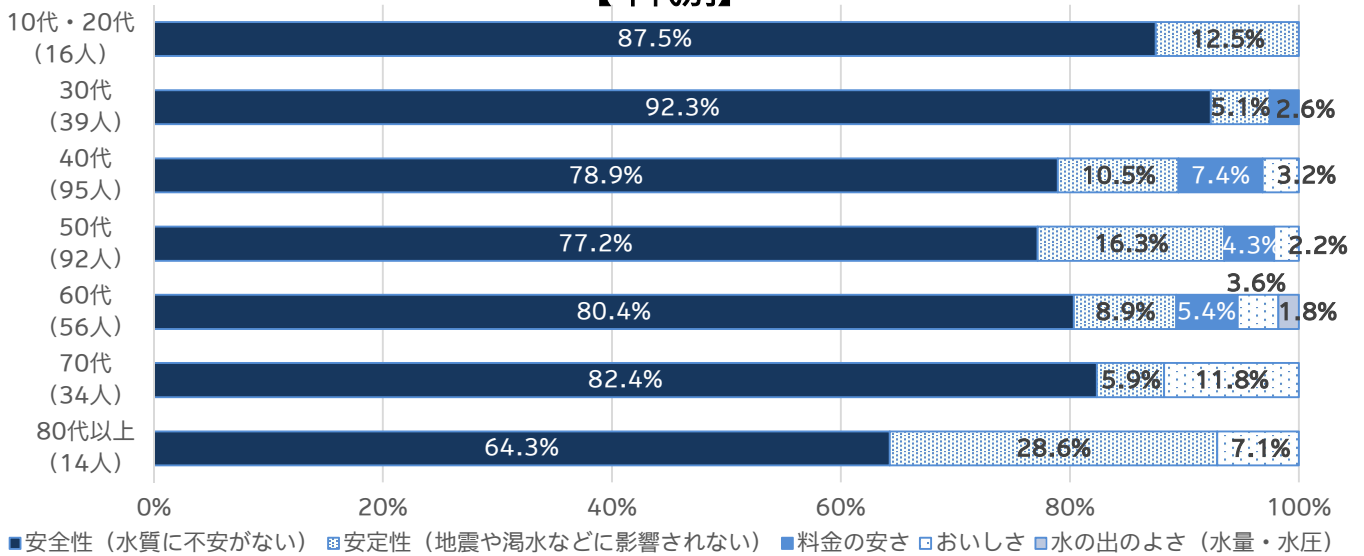
第1章 郡山市の水道水について

問1 水道水に対して最も重視するものは何ですか？（1つ選択）

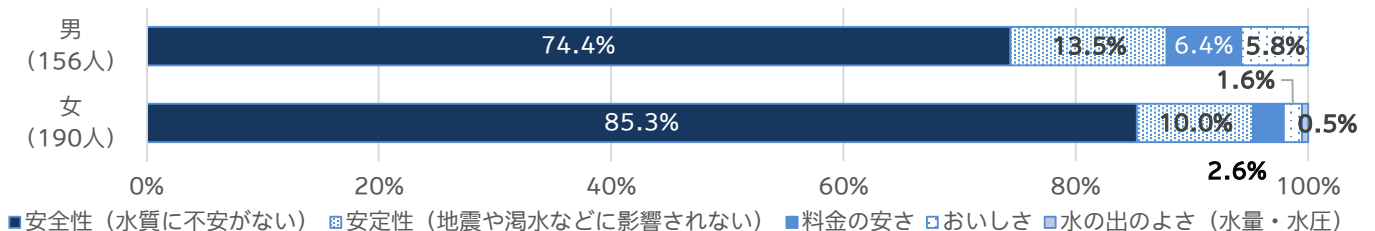
（回答者：346人）



【年代別】



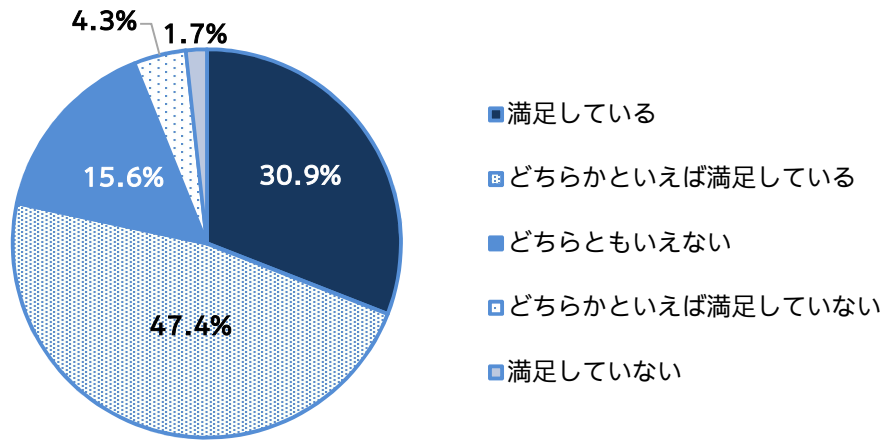
【男女別】



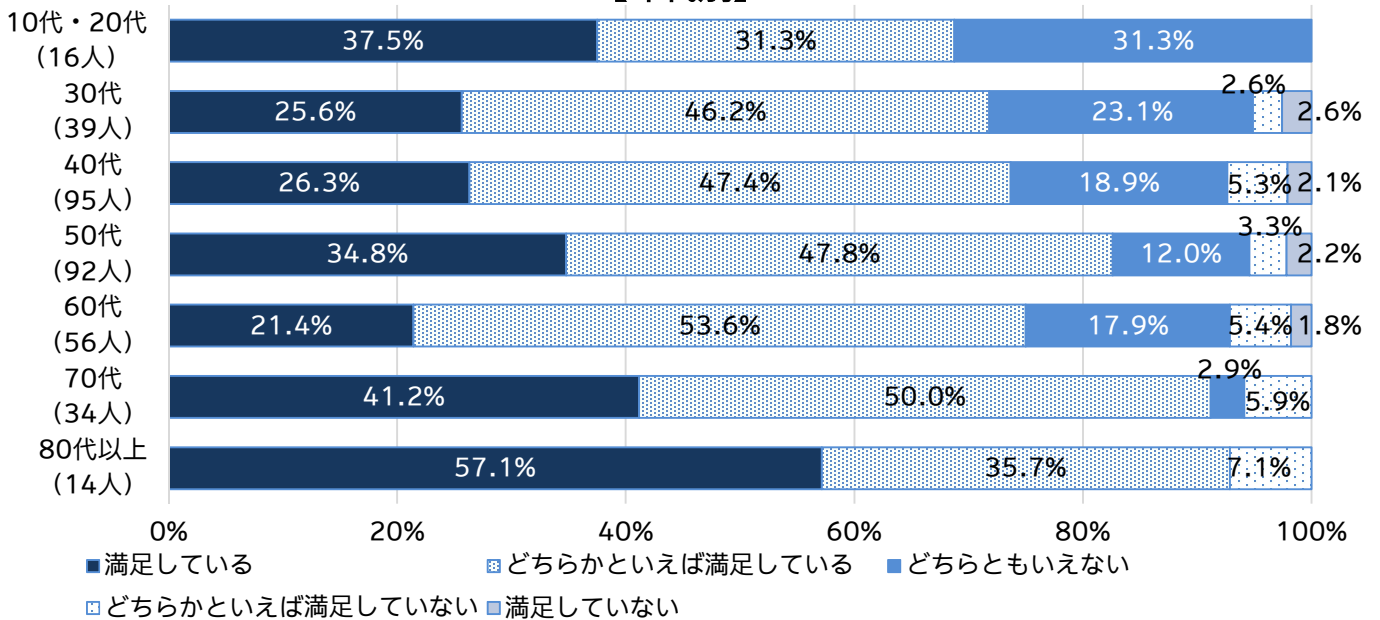
水道水について、最も重視するものは「安全性」で、割合は80.3%となっている。
 年代別でも、全年代を通じて「安全性」を重視する割合が高いが、次いで重視するものについては年代によりばらつきがあることがわかる。
 男女別でみると、「安全性」を重視する割合は男性と比べて女性が10.9ポイント高くなっている。

問2 問1で選んだものについて、現在満足していますか？（1つ選択）

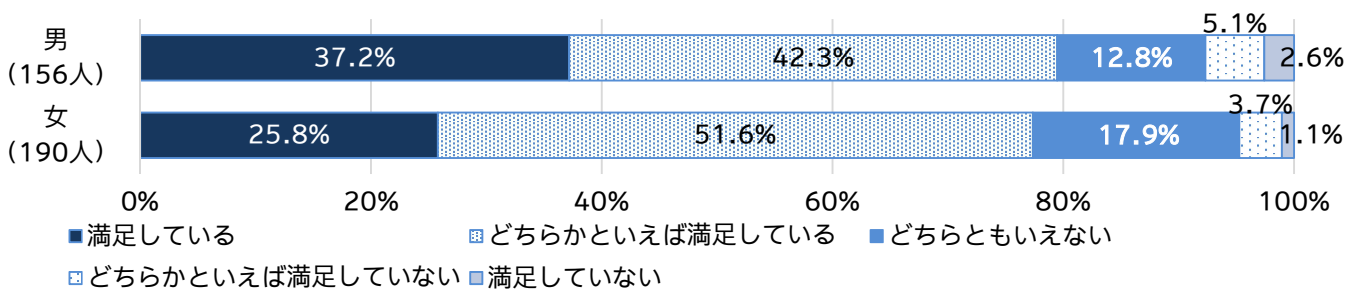
（回答者：346人）



【年代別】



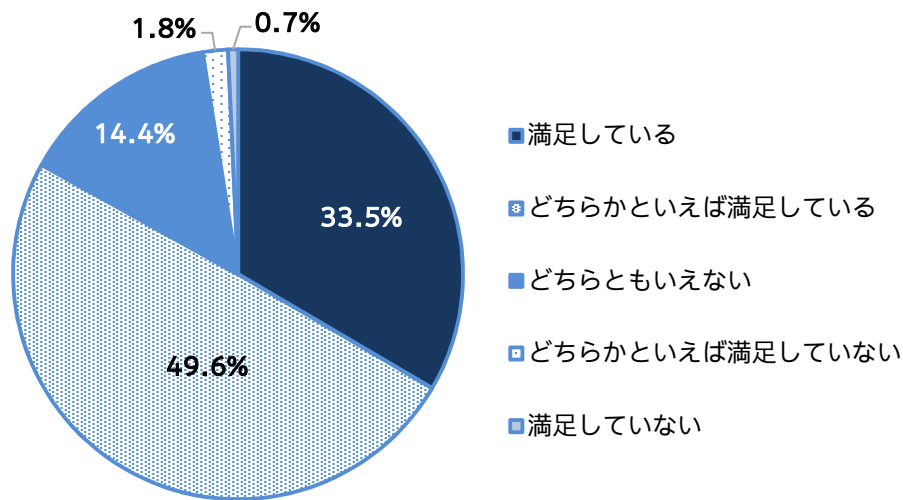
【男女別】



問1で選んだものについて、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した方は、全体の78.3%であり、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答した方は全体の6%であったことから、全体的に満足度が高い傾向が見受けられた。

参考 問1で最も選択する方が多かった「安全性」についての満足度

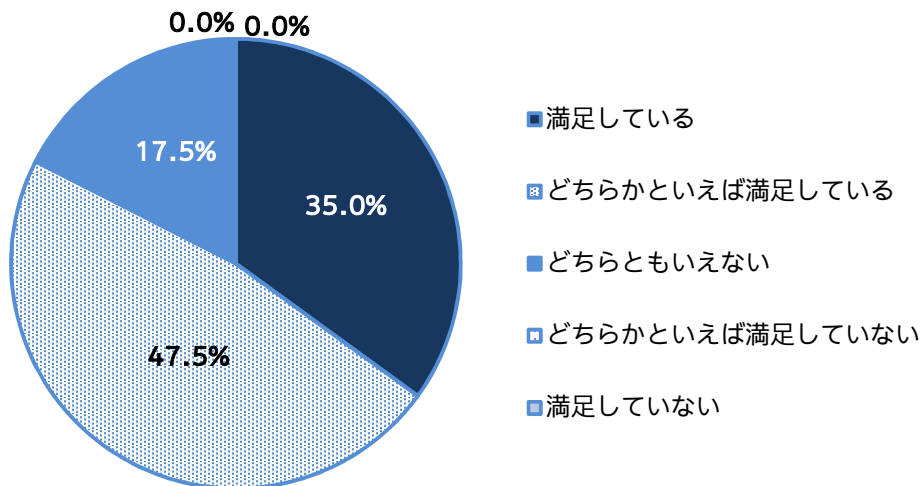
(回答者：278人)



問1で「安全性」を最も重視すると回答した方のうち、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した方の割合は83.1%、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答した方の割合は2.5%で概ね満足度が高い傾向が見られた。

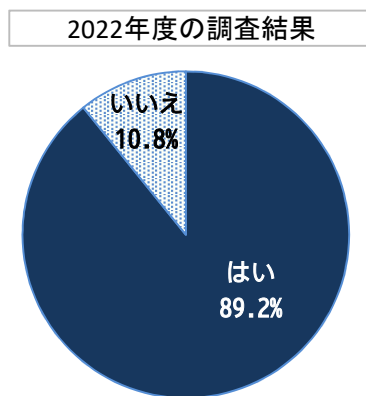
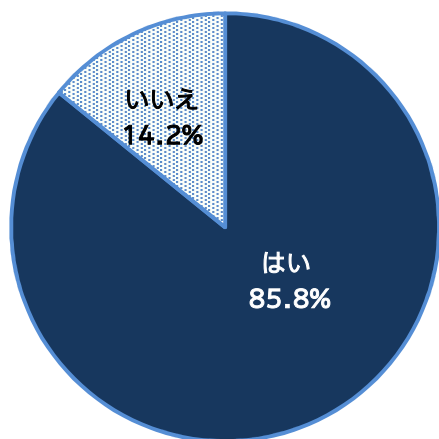
参考 問1で2番目に選択する方が多かった「安定性」の満足度

(回答者：40人)

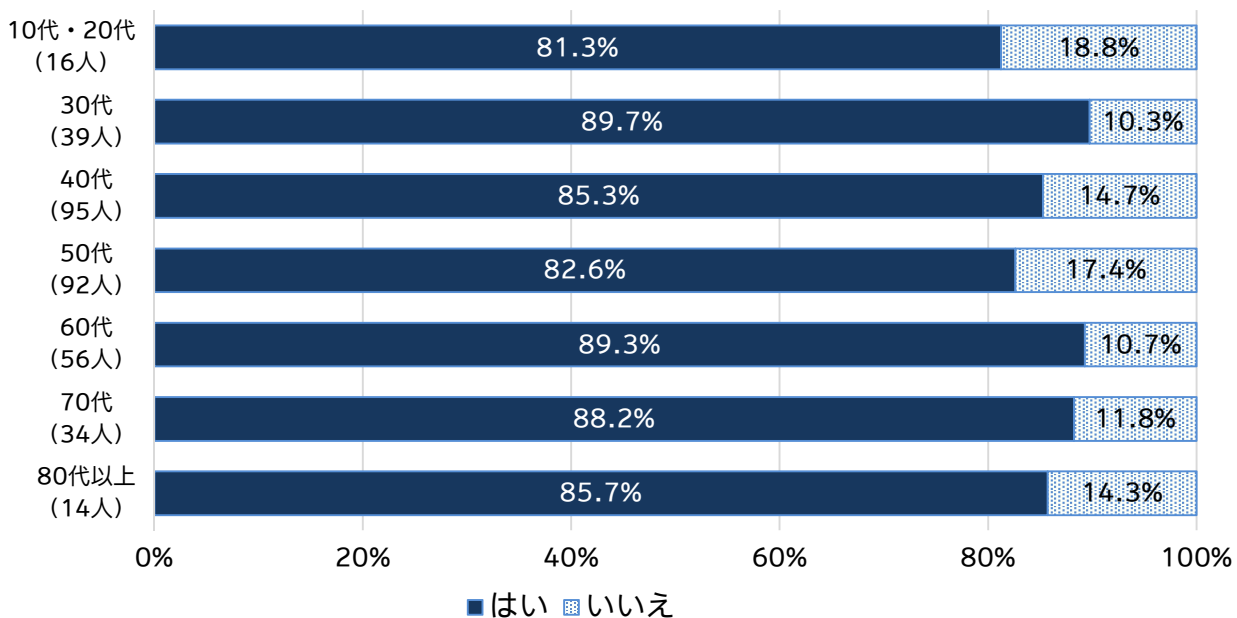


問1で「安定性」を最も重視すると回答した方のうち、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した方の割合は82.5%、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答した方の割合は0%で、市として水道水供給の安定性については満足度が高い結果となっている。

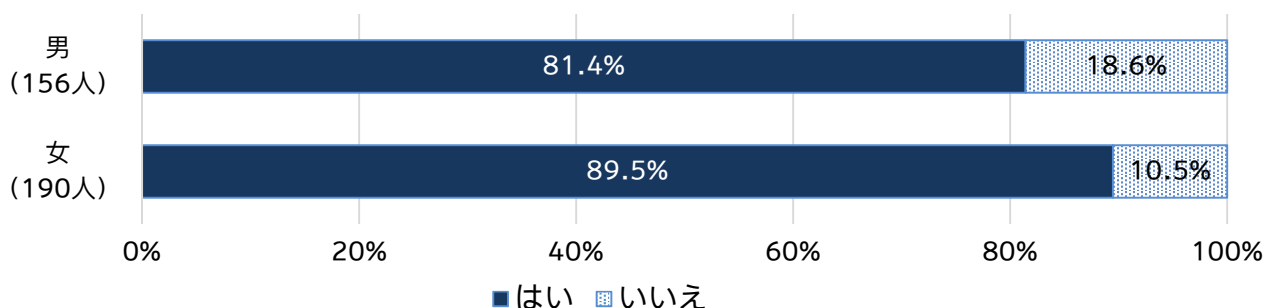
問3 安全・安心な水道水を提供するため、水道水の放射性物質のモニタリング検査を実施していますが、今後も継続した方が良いと思いますか？（1つ選択） （回答者：346人）



【年代別】



【男女別】

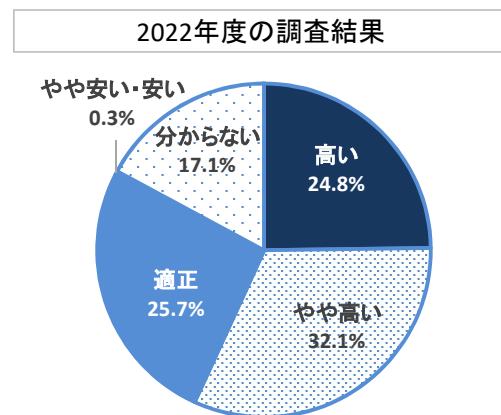
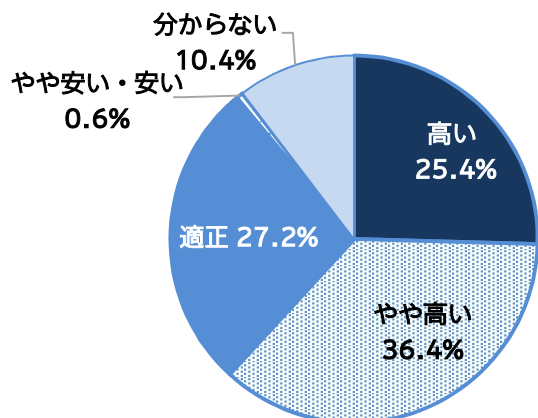


水道水の放射性物質のモニタリング検査を継続した方がよいと回答した方は85.8%であった。2022年度の結果で継続した方がよいと回答した方89.2%と比べると3.4ポイント減少したが、約9割の方がモニタリング検査の継続を望んでいる。

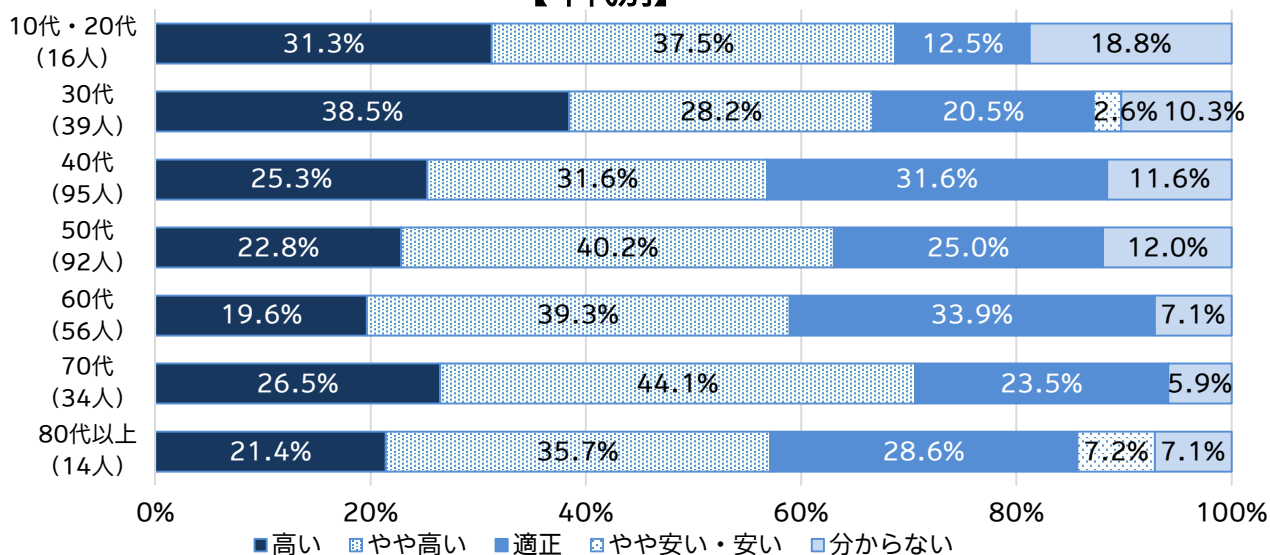
第2章 料金等について

問4 郡山市の水道料金について、どのように感じますか？（1つ選択）

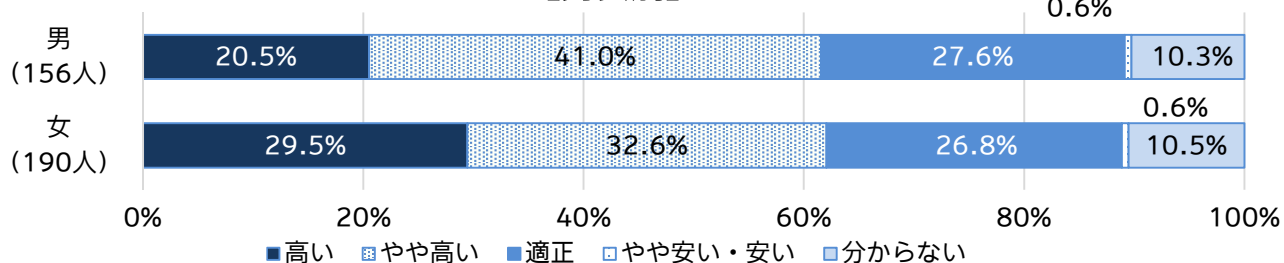
（回答者：346人）



【年代別】



【男女別】

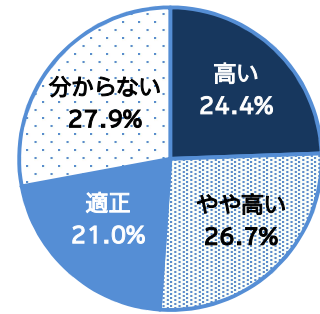
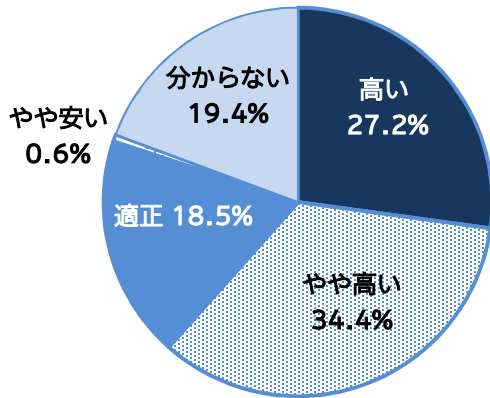


水道料金について、「やや安い」「安い」と回答した方の割合は全体の0.6%と低く、「高い」「やや高い」の割合は61.8%であった。「高い」「やや高い」と回答した方を年代別にみると、70代（70.6%）、10～20代（68.8%）、30代（66.7%）の順となり、半数以上が水道料金を「高い」「やや高い」と回答している。前年度と比べ、「高い」「やや高い」と回答した方の割合が4.9ポイント上昇していることから見ても、料金の算定方法について広く周知していく必要がある。

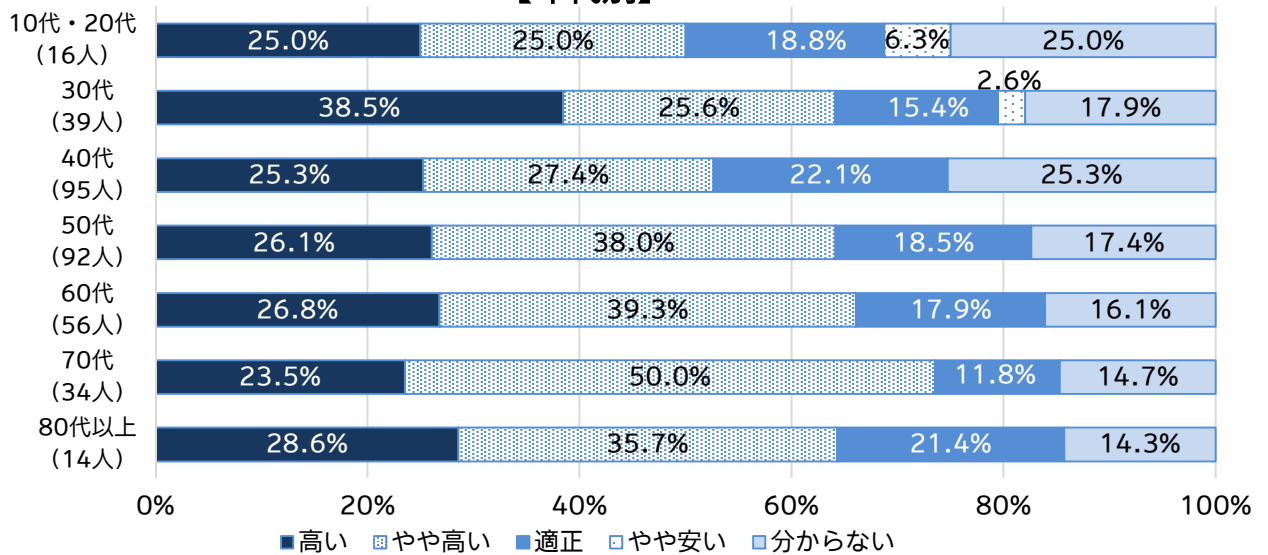
問5 郡山市の下水道使用料について、どのように感じますか？（1つ選択）

（回答者：346人）

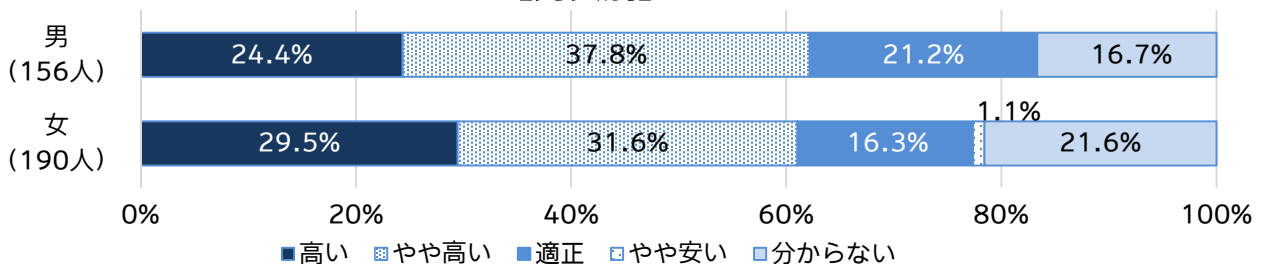
2022年度の調査結果



【年代別】



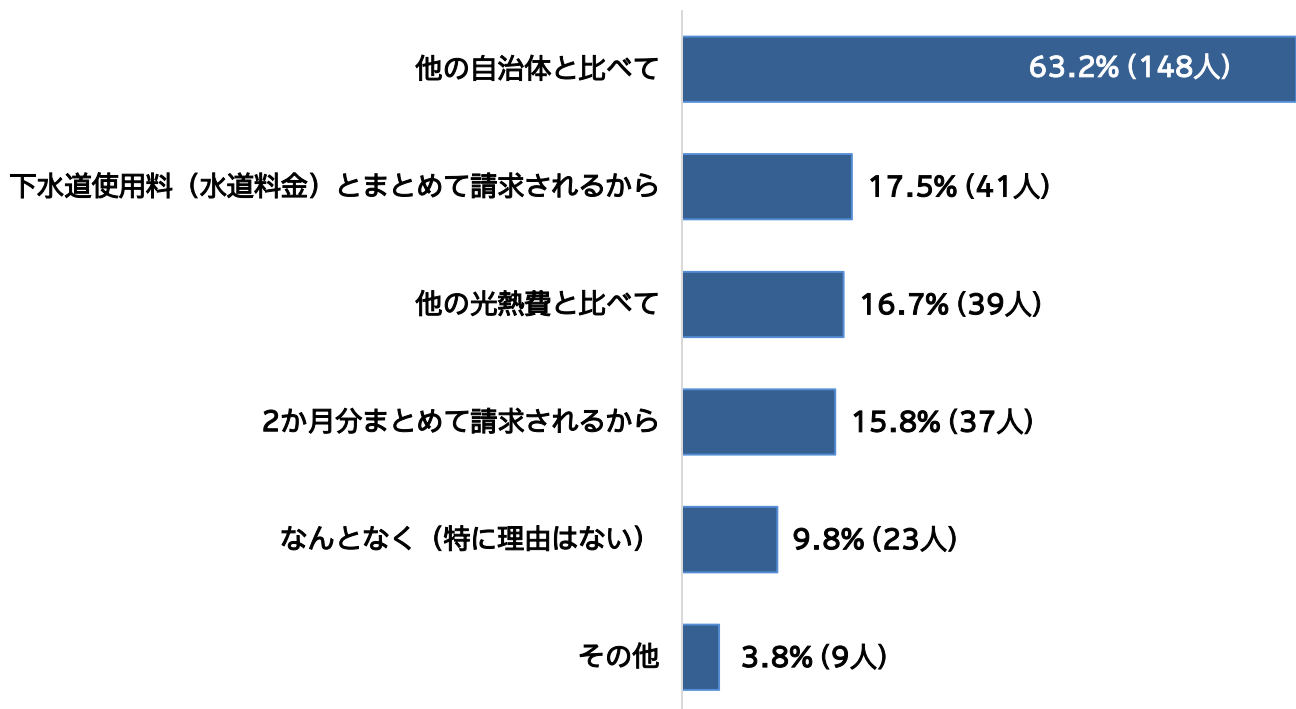
【男女別】



下水道使用料について、「やや安い」「安い」と回答した方の割合は全体の0.6%と低く、「高い」「やや高い」の割合は61.6%であった。「高い」「やや高い」と回答した方を年代別にみると、70代（73.5%）、60代（66.1%）、80代以上（64.3%）の順となり、半数以上が水道料金を「高い」「やや高い」と回答している。前年度と比べ、「高い」「やや高い」と回答した方の割合が10.5ポイント上昇していることから見ても、使用料の算定方法について広く周知していく必要がある。

問6 問4及び問5で「高い」「やや高い」を選択した方にお聞きします。高いと思う理由は何ですか？
(複数選択可)

(回答者：234人)



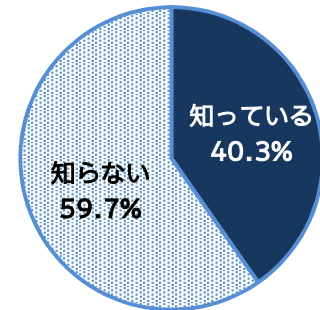
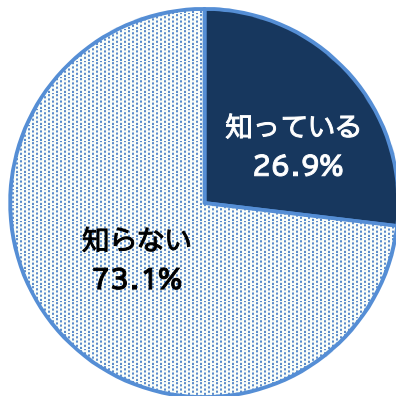
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・郡山市は高いと聞いたことがあるから
- ・物価高で賃金も上がらないのに、負担額が大きい
- ・漏水のため、直してもらっても直らない
- ・使わなくても基本料金が高いから
- ・浄化槽を使用していた時期に比べて、全体的に金額が上がったため
- ・算定基準根拠がわからないので、高いのか適正なのか評価できない

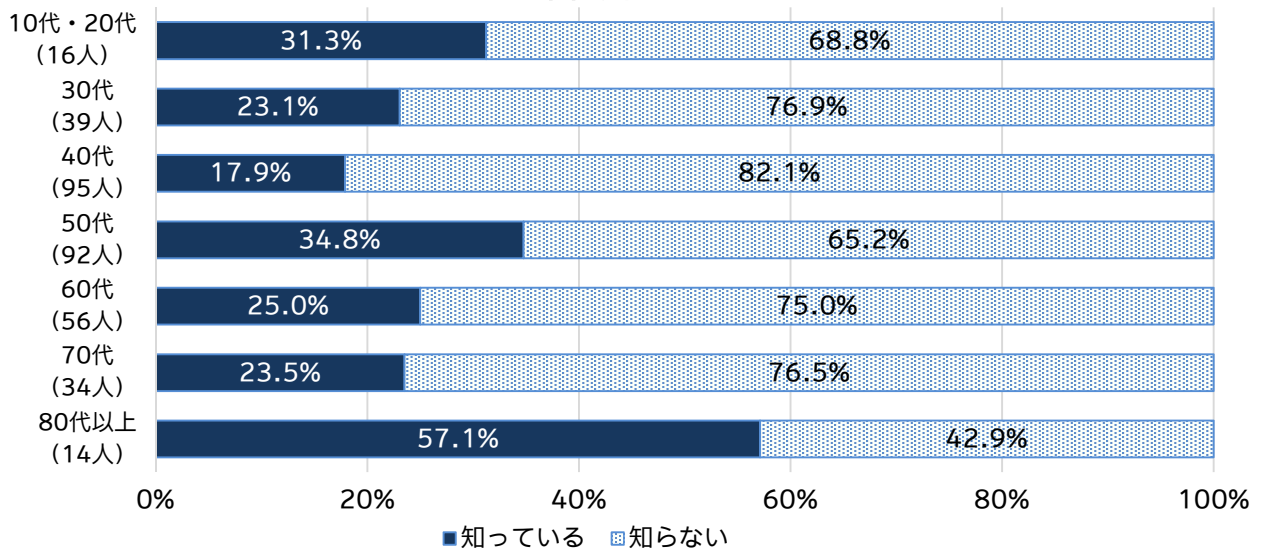
水道料金（下水道使用料）が「高い」「やや高い」と思う理由として、「他の自治体と比べて」の割合が63.2%と最も高く、次いで「下水道使用料（水道料金）とまとめて請求されるから」が17.5%だった。

問7 水道施設（浄水場、水道管、水道メーター）の多くが老朽化の進行により更新時期を迎えています。現在の水道料金の約半分は水道施設の更新に使われていることをご存知ですか？（1つ選択）（回答者：346人）

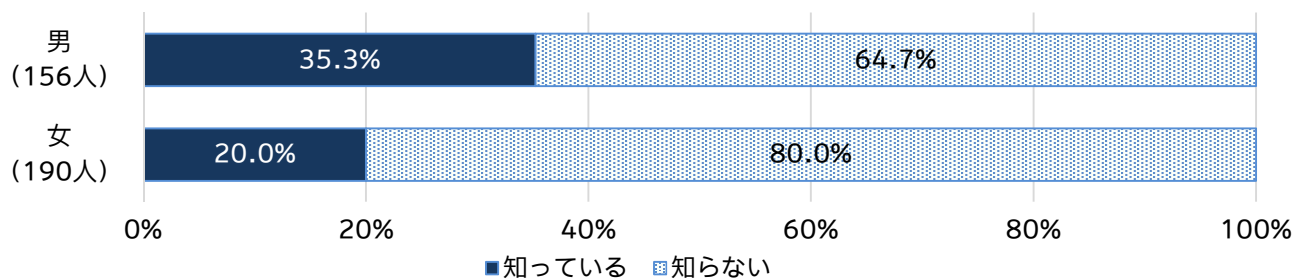
2022年度の調査結果



【年代別】

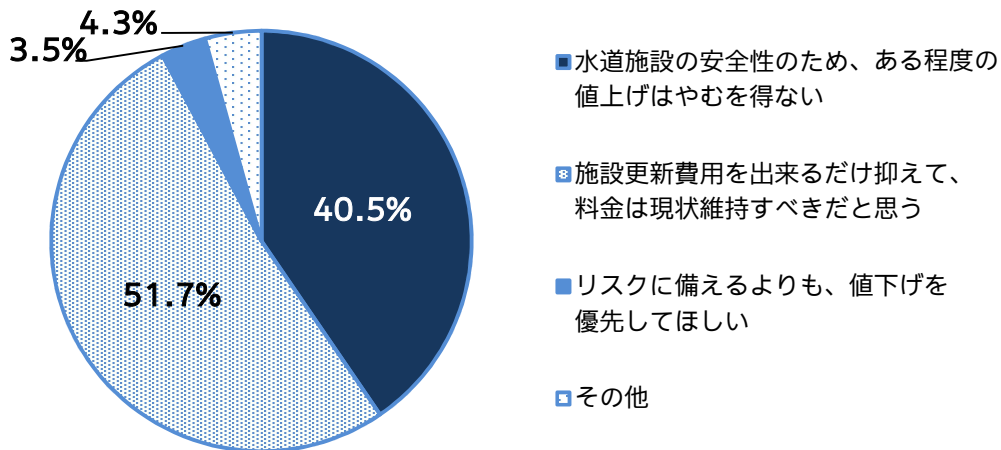


【男女別】

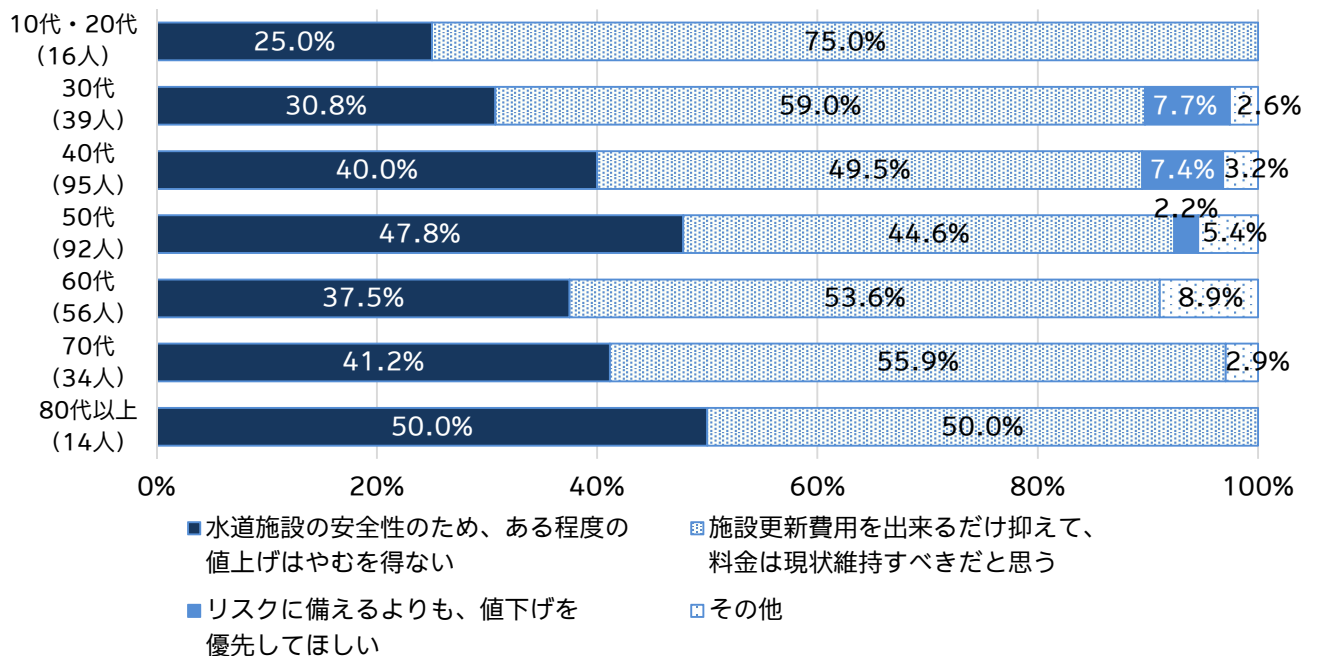


全体で見ると「知っている」と回答した方の割合が26.9%、「知らない」と回答した方の割合が73.1%であった。
 年代別では80代以上の方は5割以上の方が「知っている」と回答したが、それ以外の年代は約7～8割が「知らない」と回答した。
 男女別では、「知っている」と回答した男性の方が女性の方より15.3ポイント高い。
 昨年度と比べると「知っている」と回答した割合が13.4ポイント減少していることから、水道料金の用途について、改めて周知していく必要がある。

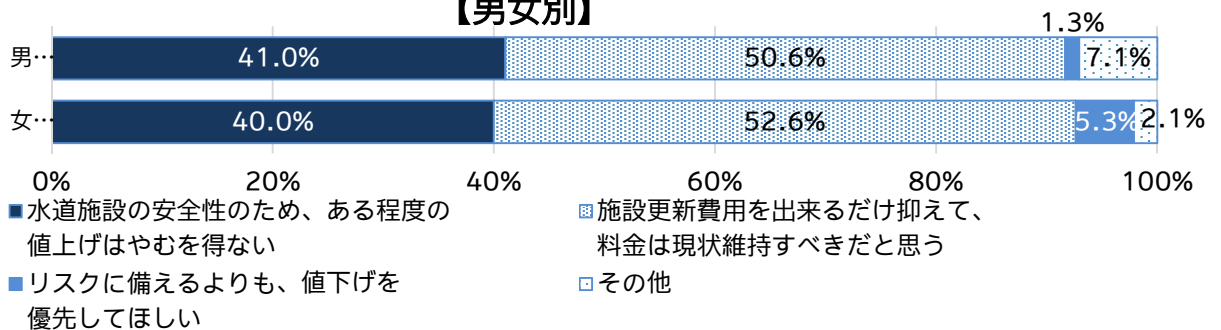
問8 安全性を確保するため、老朽化した水道施設の更新に多額の費用が必要であることから、水道料金についてどう思いますか？（1つ選択）
 （回答者：346人）



【年代別】

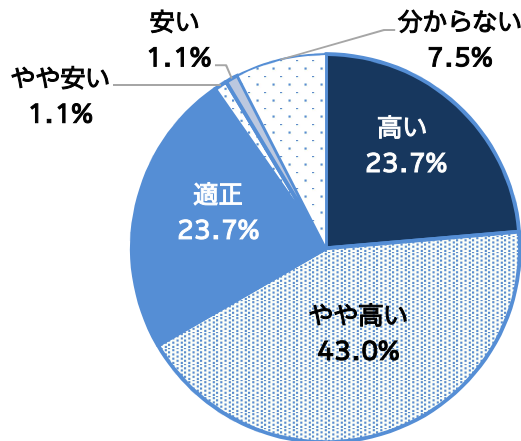


【男女別】



全体で見ると「料金は現状維持すべきだと思う」と回答した方が51.7%、次いで「ある程度の値上げはやむを得ない」と回答した方が40.5%であった。
 年代別で見ると「料金は現状維持すべきだと思う」を選択した方が、10～20代（75.0%）、30代（59.0%）、70代（55.9%）との順となり、ほぼ半数以上が現状維持を望んでいる結果となった。

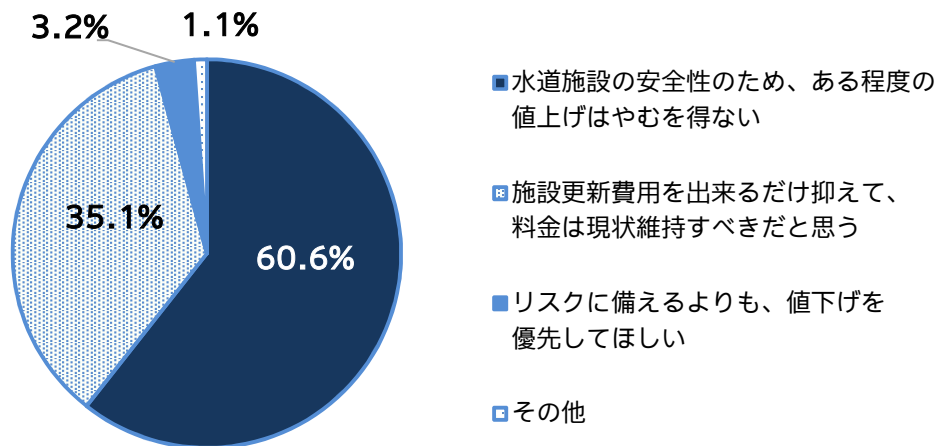
参考 問7で水道料金の用途で「知っている」を選択した方が、問4の水道料金について回答した内訳 (回答者：93人)



問7で水道料金の使い道を「知っている」と回答した方が、問4の水道料金についてどのように感じるか回答した割合について、「高い」「やや高い」の合計は66.7%、「適正」23.7%、「やや安い」「安い」2.2%、「分からない」7.5%であった。

水道料金の用途を知っている方の中でも「高い」「やや高い」と回答した方が約7割弱と高い数値であることから、今後は水道料金が「高い」というイメージをより具体的に調査したり、一層市民の皆さまに情報発信していくことが必要である。

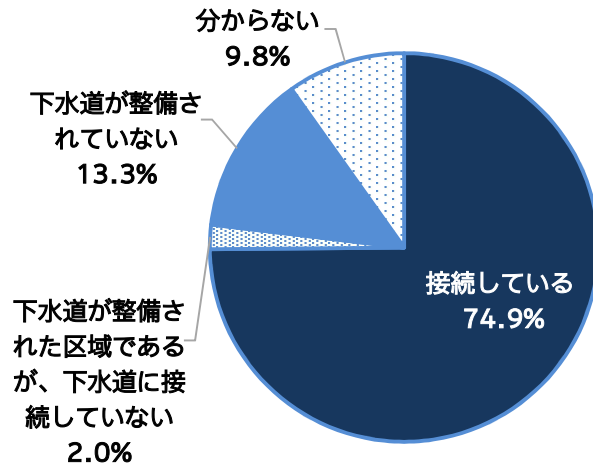
参考 問4で水道料金について「適正」を選択した方のうち問8に回答した内訳 (回答者：94人)



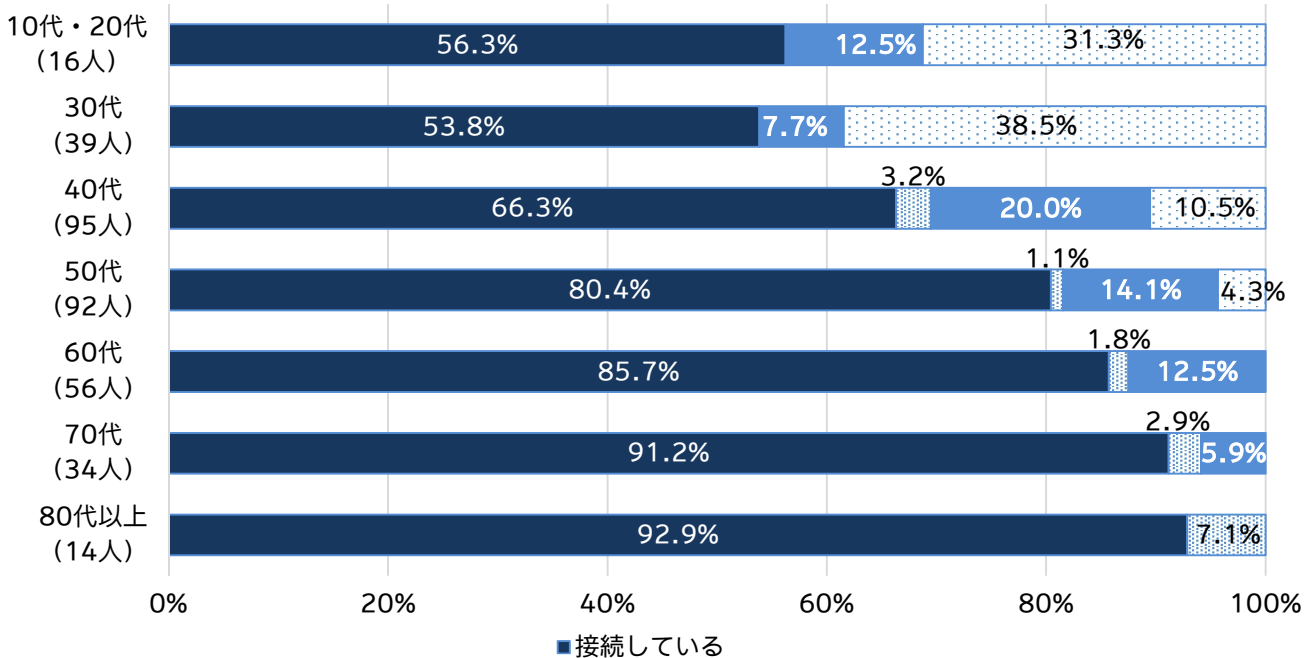
問4で水道料金について「適正」と回答した方のうち、問8で水道料金について回答した内容について、「ある程度の値上げはやむを得ない」と回答した方は60.6%、「料金は現状維持すべきだと思う」と回答した方は35.1%であった。

問9 ご家庭では、下水道に接続していますか？（1つ選択）

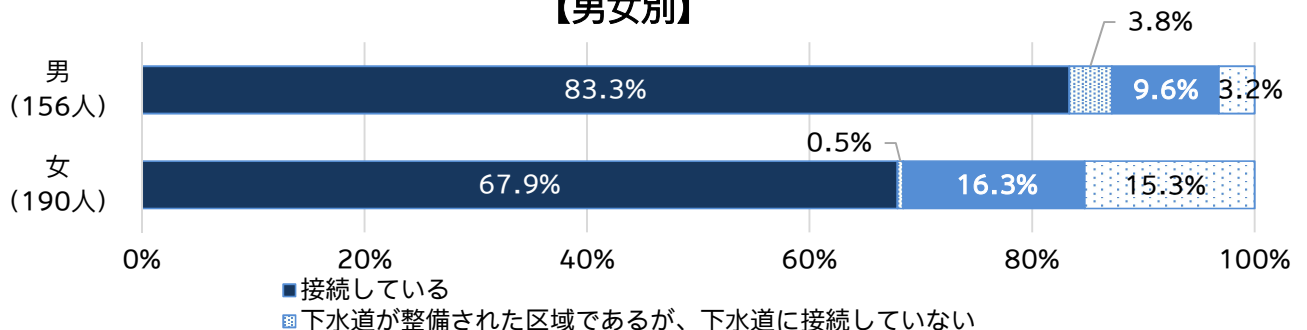
（回答者：346人）



【年代別】



【男女別】



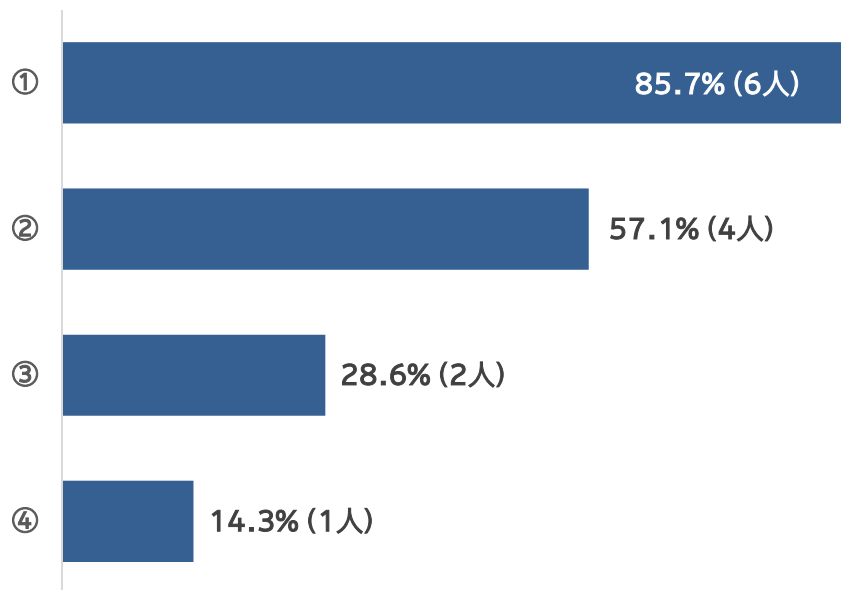
全体で見ると「接続している」と回答した方が74.9%、次いで「下水道が整備されていない」が13.3%、「分からない」が9.8%となっている。

年代別で見ると、「分からない」と回答した方は10～20代（31.3%）、30代（38.5%）、40代（10.5%）となっており、若い世代ほどご家庭での汚水の処理方法が分からない割合が高いことが分かる。

男女別で見ると、「わからない」と回答した方の女性の割合が男性に比べ12.1ポイント高くなっている。

問10 問9で「下水道が整備された区域であるが、下水道に接続していない」を選択した方にお聞きします。接続を済ませていない理由として該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

（回答者：7人）

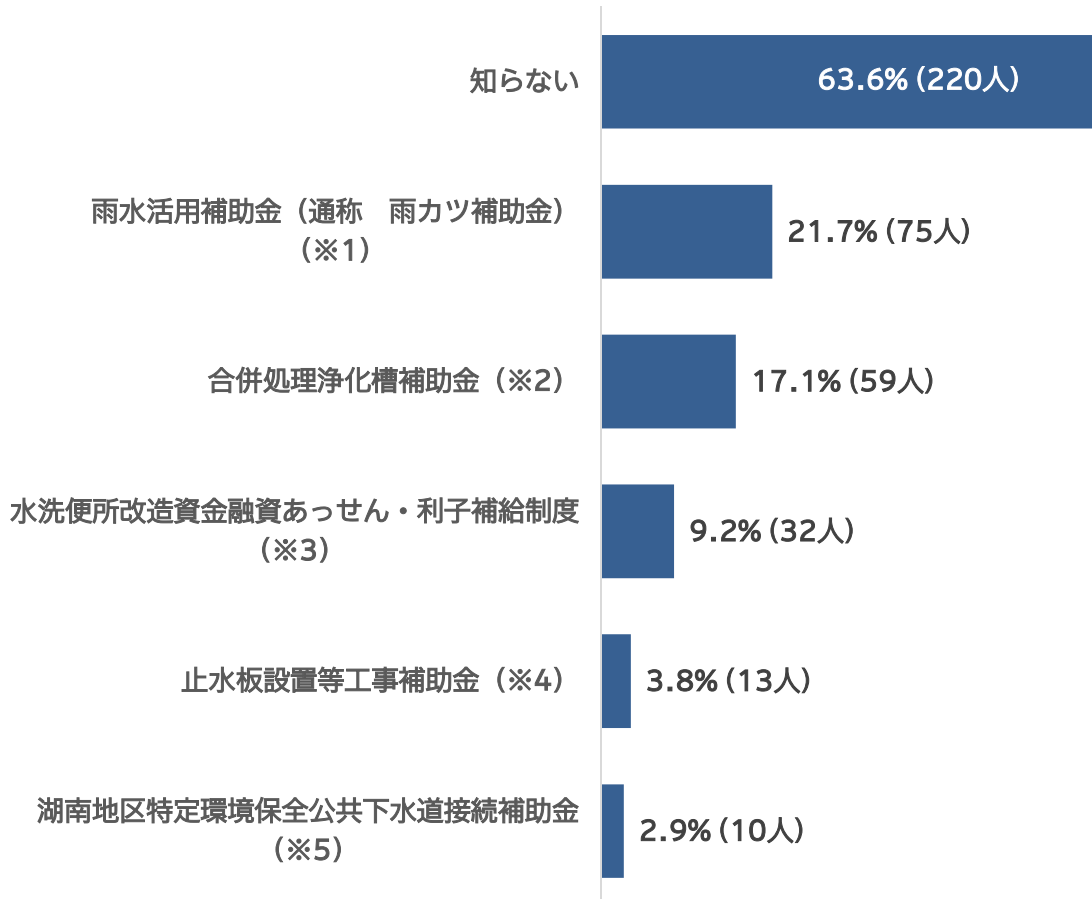


- ① 下水道への接続工事に必要な資金の準備ができていないから
- ② 現在使用している浄化槽がまだ使用できるから
- ③ 家のリフォームや建て替えに併せて接続したいから
- ④ 下水道への接続に関する市側の説明に納得できていないから

「資金の準備ができていない」が85.7%、次いで「現在の浄化槽がまだ使用できるから」が57.1%であった。
「下水道への接続に関する市側の説明に納得できていないから」と回答した方がいたことについて、今後の下水道接続へ理解及び周知方法について今後も検討する必要がある。

問11 郡山市では下水道接続促進、浸水対策を目的とした様々な支援を行っていますが、ご存知の制度はありますか？（複数選択可）
 ※合併処理浄化槽とは各家庭に設置し、微生物の働きを利用して汚水（し尿、生活雑排水）を処理する施設の事を指しています。

（回答者：346人）



※1 対象区域内で雨水を一時的に貯留・浸透させる施設などの設置・購入に係る費用の一部補助

※2 下水道等未整備地域で合併処理浄化槽に転換する場合の費用や適切な維持管理を実施した費用の一部補助

※3 下水道接続の改造工事資金を金融機関から借りやすくするための融資あっせん及び利子を上下水道局が負担

※4 対象区域にある住宅・事務所などに設置する止水板の設置及び関連工事費最大30万円補助

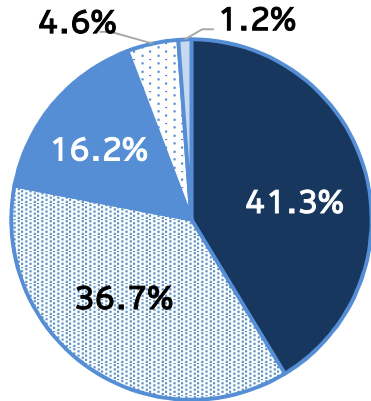
※5 対象区域に居住する高齢者に対し下水道接続の改造工事費最大20万円補助

63.6%の方が制度について「知らない」を選択しており、市民に向けた周知方法について検討する必要があることがわかる。

第3章 内水ハザードマップについて

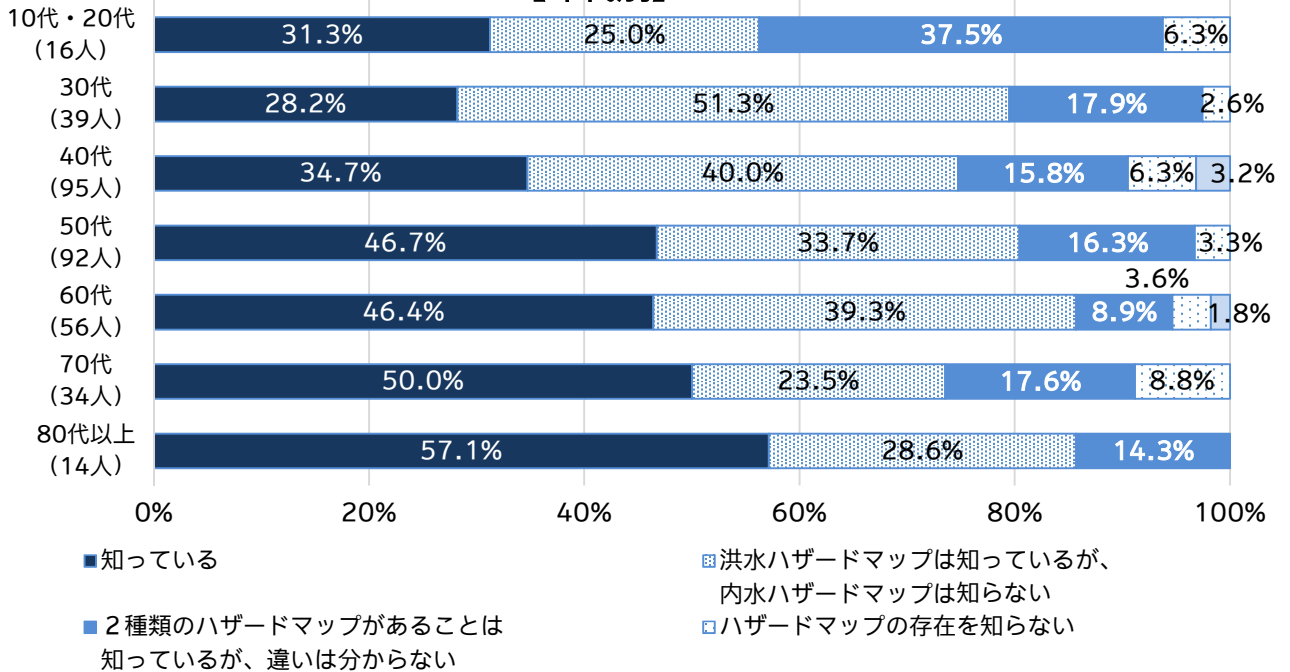
問12 災害への備えとして郡山市では水害に関するハザードマップについて、郡山市洪水（こうずい）ハザードマップ（以下、洪水ハザードマップ）と郡山市内水（ないすい）（※）ハザードマップ（以下、内水ハザードマップ）の2種類作成していますが、この2つの違いをご存知ですか？（1つ選択）

※内水（ないすい）とは急激な降雨により排水しきれない雨水が市街地にあふれることを指しています。
（回答者：346人）

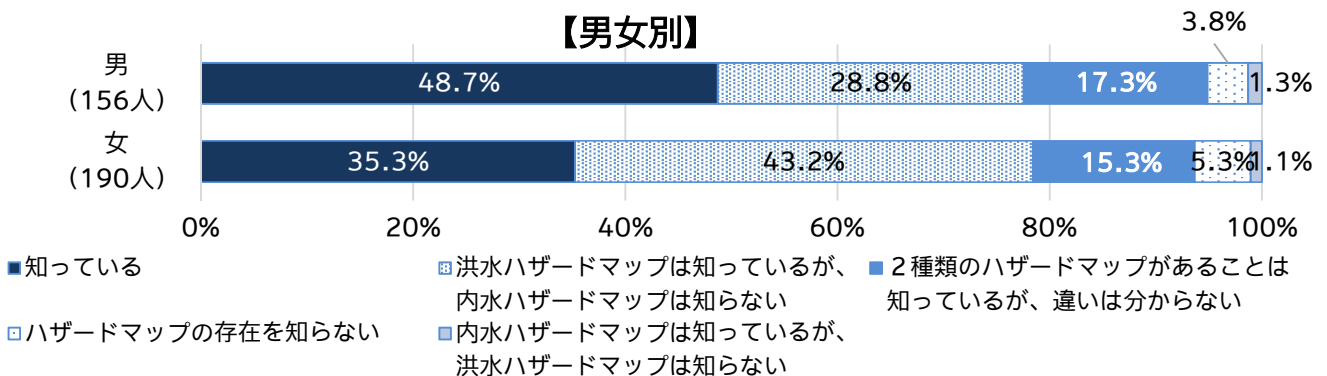


- 知っている
- 洪水ハザードマップは知っているが、内水ハザードマップは知らない
- 2種類のハザードマップがあることは知っているが、違いは分からない
- ハザードマップの存在を知らない
- 内水ハザードマップは知っているが、洪水ハザードマップは知らない

【年代別】

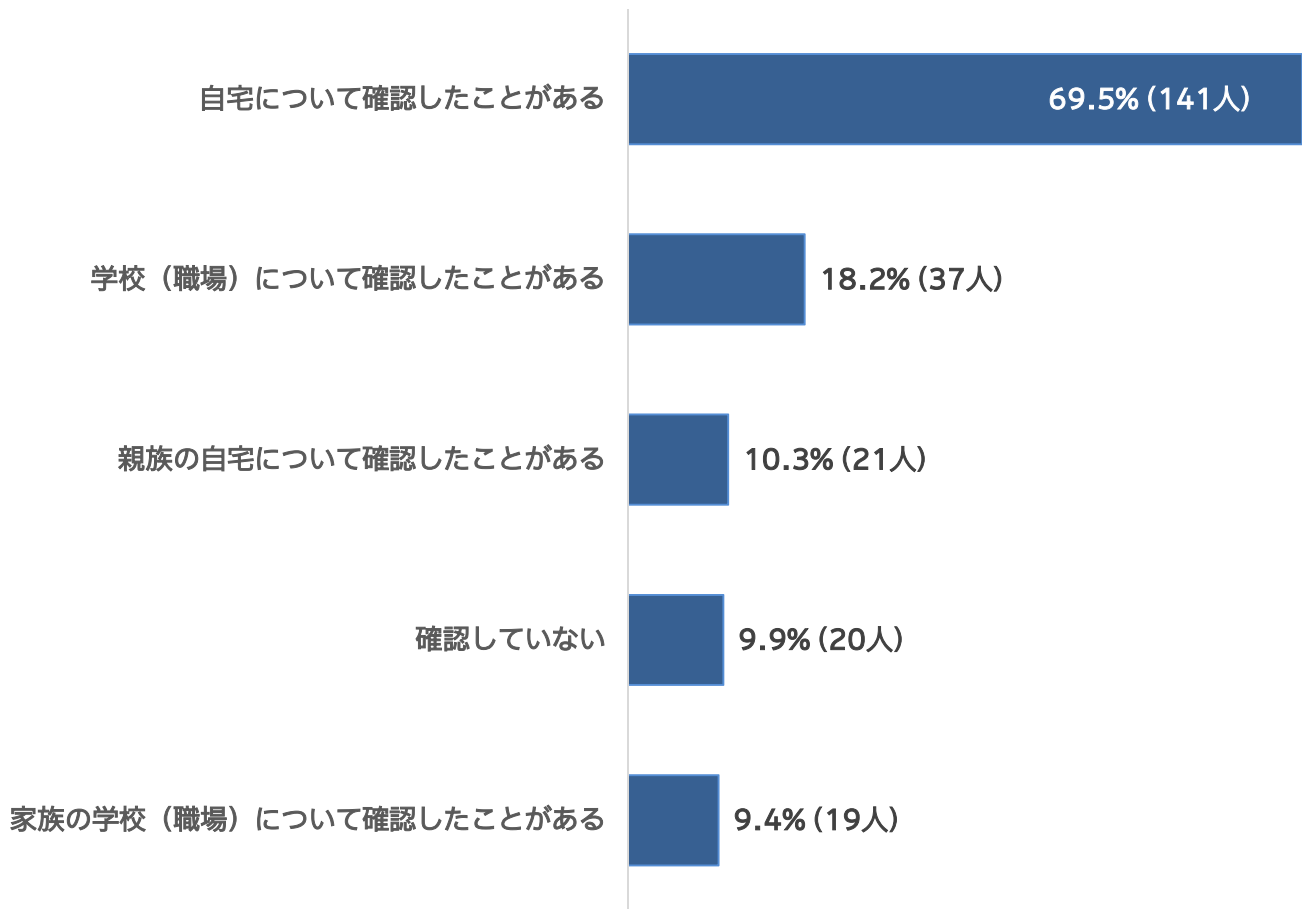


【男女別】



全体として、ハザードマップ自体を「知っている」と回答した方の割合は95.4%であった。
年代別では、ハザードマップ自体を「知っている」と回答した方の割合について80代以上（100%）、30代（97.4%）、50代（96.7%）となっている。

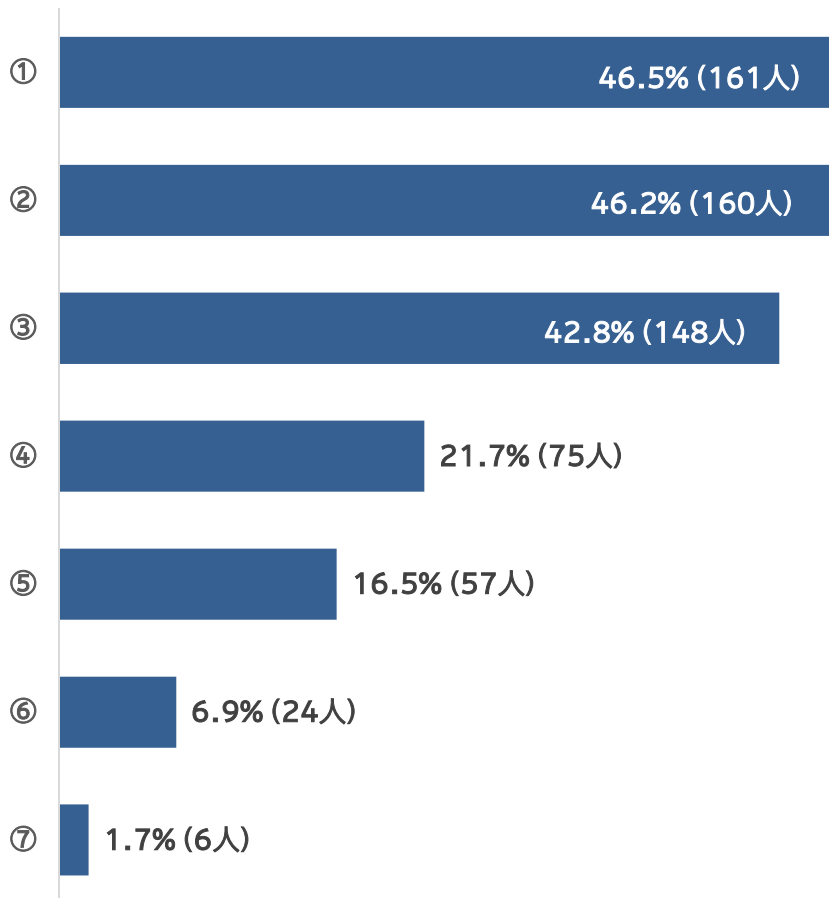
問13 問12で内水ハザードマップについて「知っている」を選択した方にお聞きします。内水ハザードマップを使って、自宅や学校、職場等の水害リスクについて事前確認を行ったことはありますか？(回答者：203人)
(複数選択可)



「自宅について確認したことがある」と回答した方が69.5%と最も高く、次いで「学校（職場）について確認したことがある」が18.2%だった。
内水ハザードマップを知っていても、一部の方が「確認していない」と回答しており、今後は使い方についても併せて周知を図る必要がある。

問14 今後、内水ハザードマップを改訂する場合に、どのような形が望ましいと思いますか？（複数選択可）

（回答者：346人）



- ① 洪水ハザードマップと内水ハザードマップを一つのマップにまとめる
- ② 雨の降り方（局地的大雨、台風など）に応じた浸水（※）想定が分かるようにする
- ③ 現時点で想定される最大規模の雨での浸水想定を示す
- ④ ハザードマップをよりリアルに読み取れるよう、街並みと浸水想定を3D化（立体化）する
- ⑤ 外国人が見ても分かりやすいよう多言語化する
- ⑥ 現状のままでよい
- ⑦ その他

※ 浸水とは、市街地にあふれた水が住宅などの建物内に入り込むことを指しています。

※ 「その他」を選択した方の主な意見

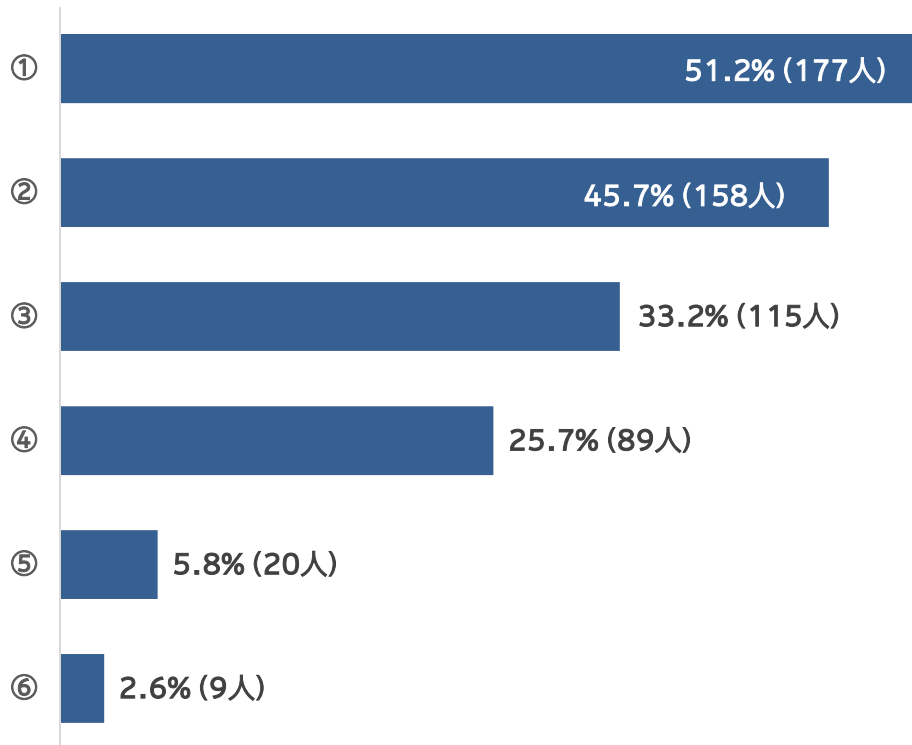
- ・ハザードマップの縮尺が荒く町内会レベルの浸水予想が読み取れない
- ・小学生がわかるマップも作成してほしい
- ・エリア該当の場合、不動産価値が下落する現象が起きています。短期間で更新願います。

ハザードマップを改訂にあたり望ましいと思うものに、「一つのハザードマップにまとめる」を回答した方が46.5%、次いで「雨の降り方に応じた浸水想定が分かるようにする」が46.2%、「現時点で想定される最大規模の雨での浸水想定を示す」が42.8%であった。

問15 気候変動により今後も雨の量が増えることが想定されていますが、雨水貯留管（※）などの浸水対策施設の建設には多額の事業費（税金）が必要になります。今後の浸水対策の在り方として考えるものをすべて選択してください。（複数選択可）

※雨水貯留管とは既設の下水道管で処理しきれない雨水を一時的に貯めておく施設のことを指しています。

（回答者：346人）



- ① ハザードマップを活用した早めの避難を呼びかけ、人的な浸水被害を軽減するよう努める
- ② 一定の基準を満たした対策施設を建設し、併せて、土のうを設置するなど市民自ら被害軽減に努める
- ③ 多額の事業費（税金）がかかってしまうが、十分な対策施設を建設する
- ④ 浸水リスクが高い地域からの住宅移転促進などの施策を進める
- ⑤ 分からない
- ⑥ その他

※ 「その他」を選択した方の主な意見

- ・道路、敷地（個人宅も含め）をコンクリートで覆うのをなるべく避け透水性の高い材料使用を啓蒙してほしい
- ・計画的に設備の更新を行い、併せて土のう等を活用を勧める
- ・水害後に発生する費用と、十分な対策施設を建設する費用を天秤にかけても多額と感じれば、一定の基準にする
- ・洪水が起きないように田んぼや空き地に多くなった雨水を貯水する仕組みをつくる
- ・ハザードマップをいくら整えても見てくれなければ意味がないので、町内会等を活用してマップの説明をする

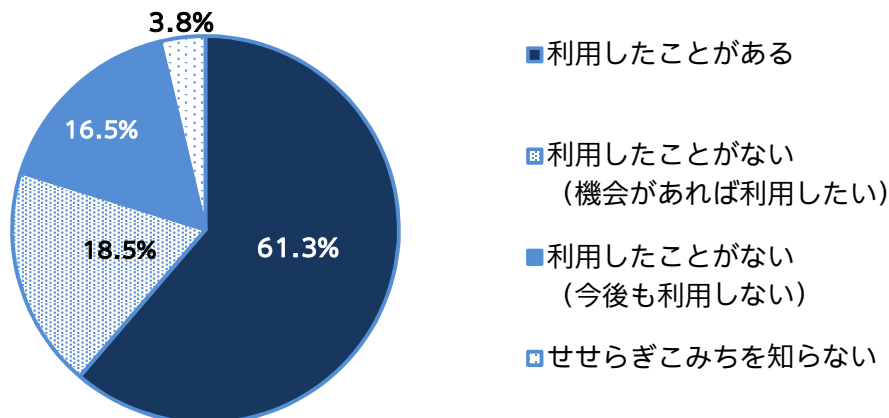
今後の浸水対策の在り方について、「ハザードマップを活用した早めの避難を呼びかける」と回答した方が51.2%、次いで「一定の基準を満たした対策施設を建設」が45.7%、「十分な対策施設を建設」が33.2%となった。

第4章 せせらぎこみちについて

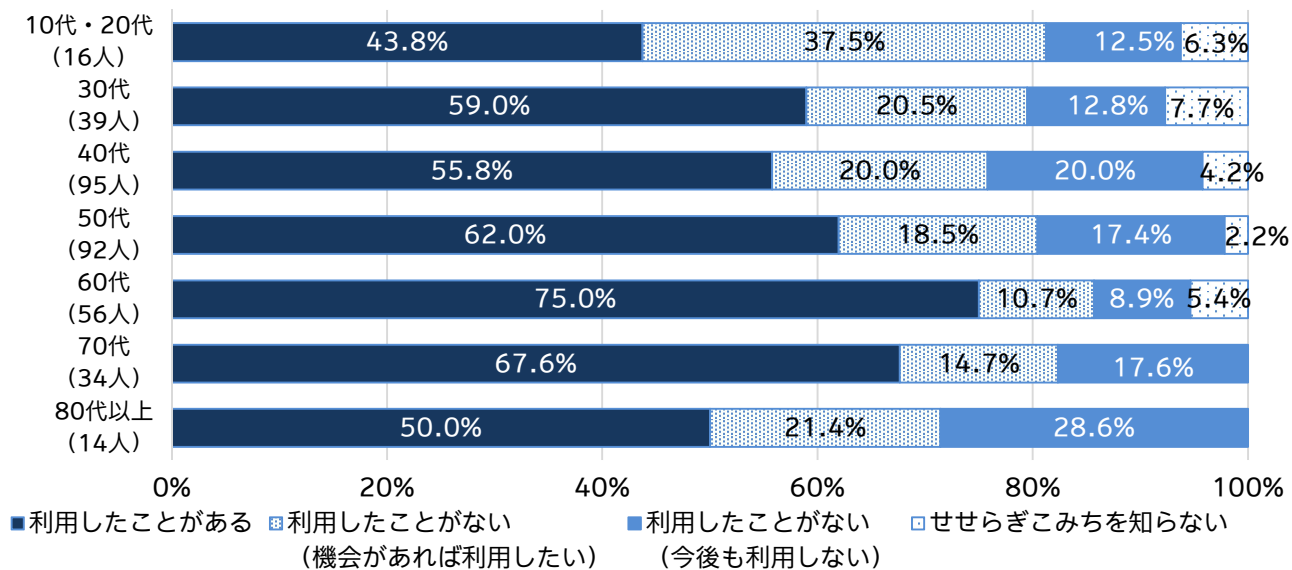
問16 整備された雨水排水路の上部に、遊歩道やせせらぎ水路、植樹帯などを整備した「せせらぎこみち（※）」の利用についてお伺いします。（1つ選択）

※市内に4か所せせらぎこみちが整備されています。（西ノ内、若葉町、台新、開成）

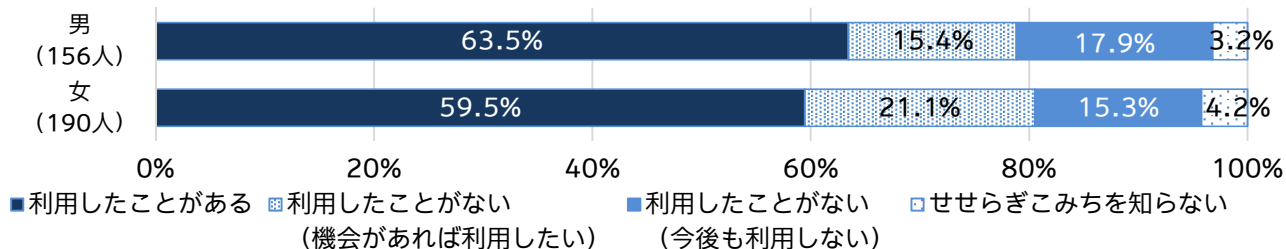
（回答者：346人）



【年代別】



【男女別】



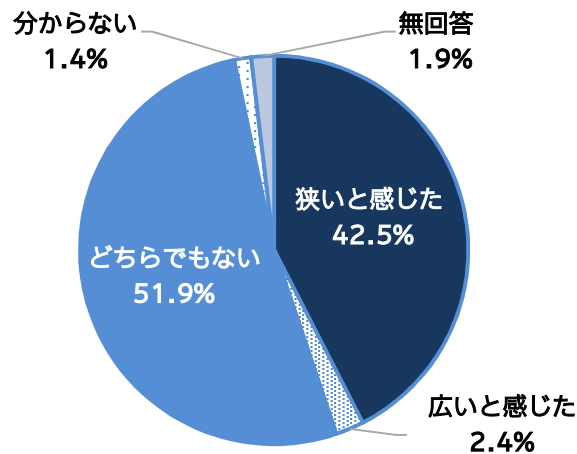
せせらぎこみちについて、「利用したことがある」と回答した方は61.3%、「利用したことがない」「知らない」と回答した方は38.8%であった。

年代別では10代・20代を除き50%以上で「利用したことがある」と回答。

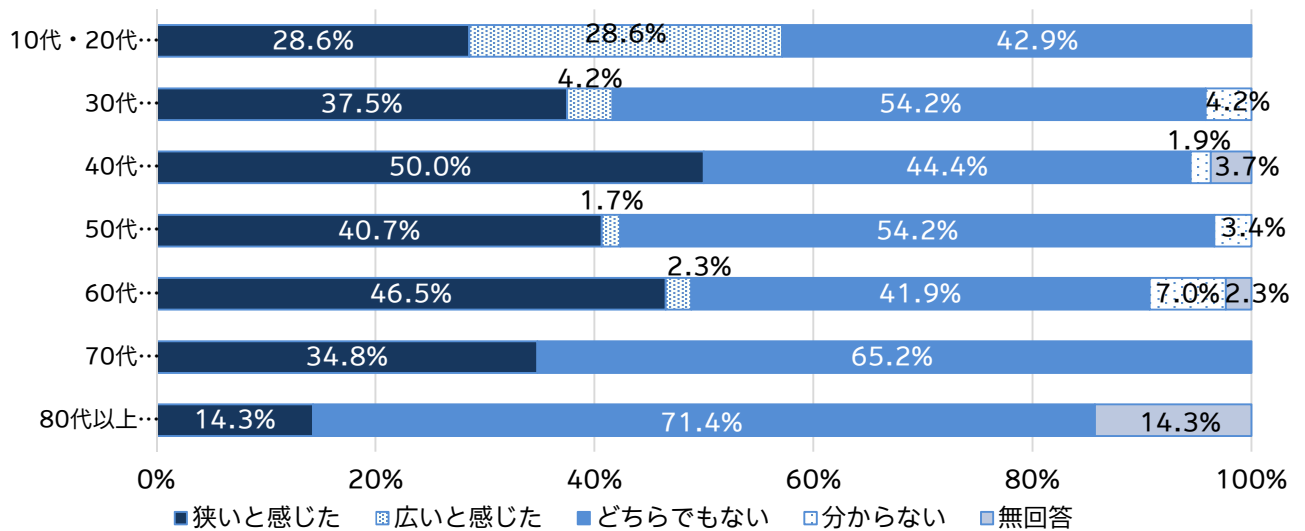
男女別では、男女ともに「利用したことがある」の割合が50%を超えている。

問17 問16で「利用したことがある」を選択した方にお聞きします。「せせらぎこみち」の現在の遊歩道の幅員についてどう感じましたか？（1つ選択）

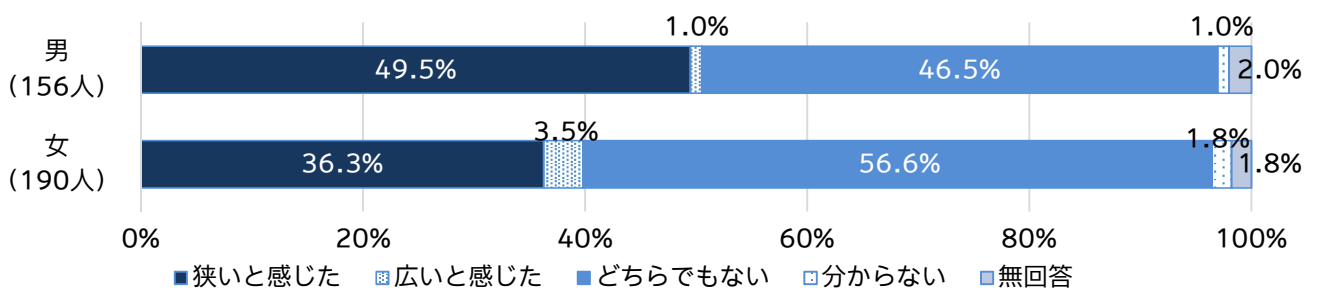
（回答者：212人）



【年代別】



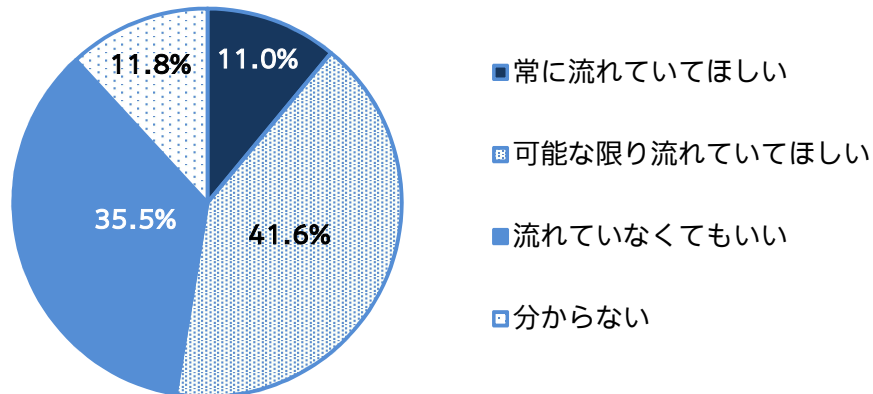
【男女別】



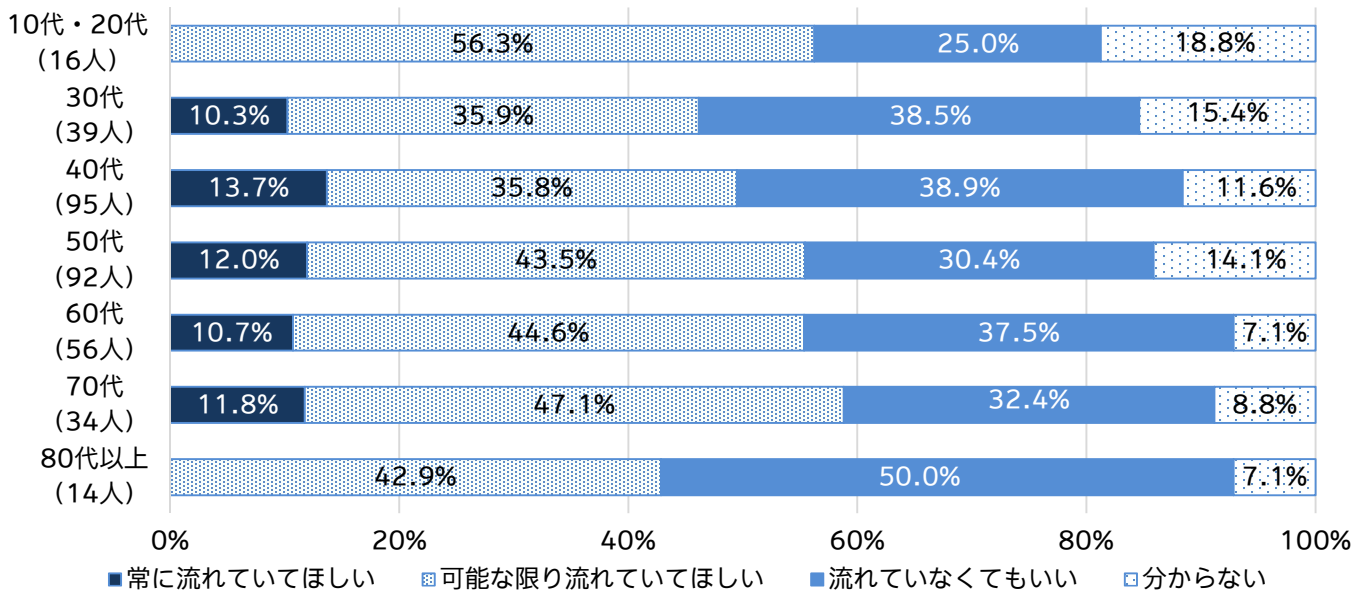
せせらぎこみちの幅員については、「狭いと感じた」（42.5%）、「広いと感じた」（2.4%）、「どちらでもない」（51.9%）、「分からない」（1.4%）という結果であった。

問18 せせらぎ水路は、施設管理上、水を流していない期間や時間帯もあります。水が流れていないせせらぎ水路をどう思いますか？（1つ選択）

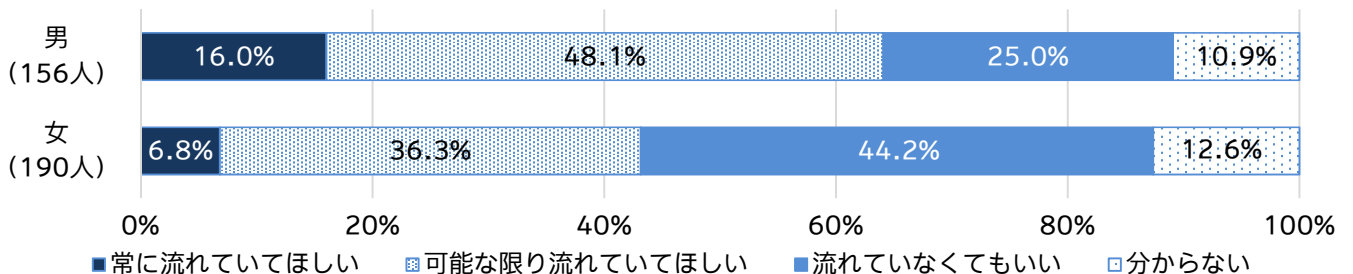
（回答者：346人）



【年代別】



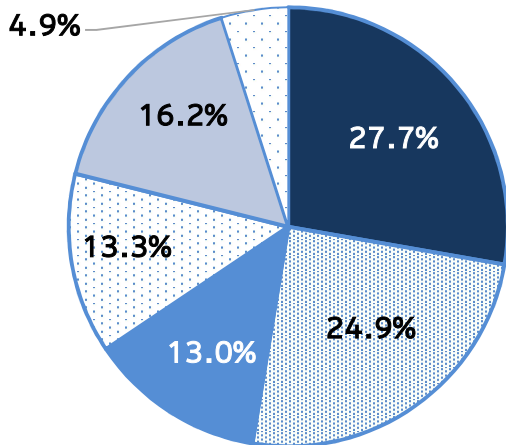
【男女別】



せせらぎ水路について、水が「常に流れていてほしい」「可能な限り流れていてほしい」と回答した方は52.6%、「流れていなくてもいい」と回答した方は35.5%であった。
年代別では、30代・40代・80代以上を除き「流れていてほしい」を選択する方が半数以上を占めている。
男女別では、「流れていてほしい」を選択する方は女性に比べて男性の方が21ポイント高くなっている。

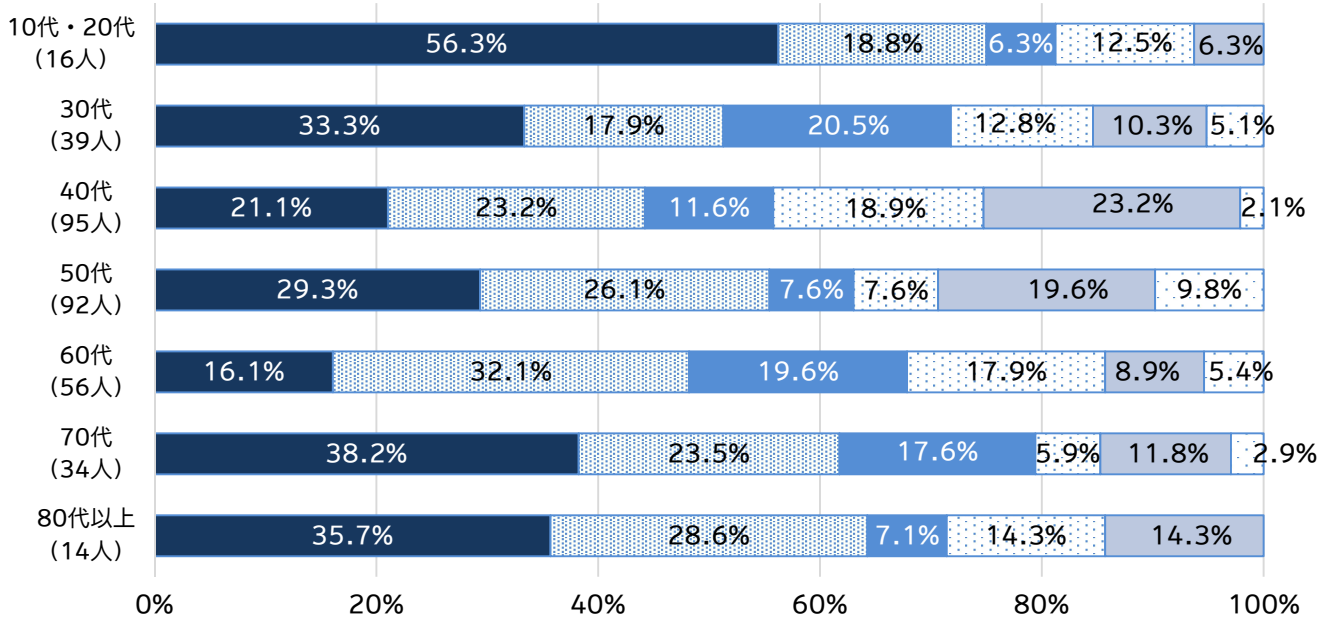
問19 せせらぎ水路には維持費がかかっており、今後はさらに浄化施設等の更新にも多額の事業費（税金）が必要になります。「せせらぎこみち」の今後の在り方についてどう思いますか？（1つ選択）

（回答者：346人）



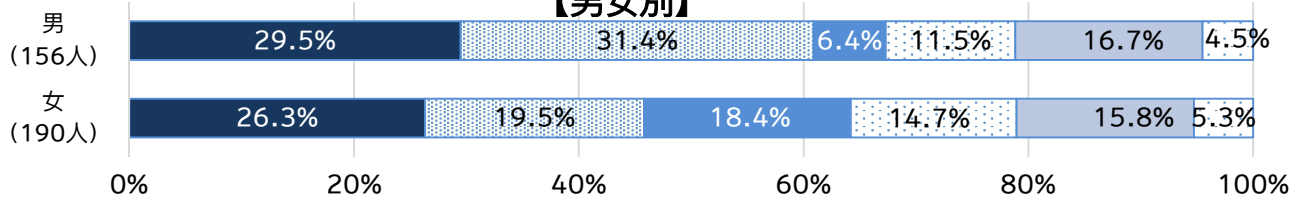
- 現状の景観、せせらぎ水路を維持する
- 現状の景観、せせらぎ水路を維持した上で、歩行者の安全のため歩道を広げる
- せせらぎ水路は水を流さず維持する
- せせらぎ水路は埋めて歩道にする
- 将来にわたる維持管理費を考慮し、水路や緑地帯を撤去して歩道にする
- その他

【年代別】



- 現状の景観、せせらぎ水路を維持する
- 現状の景観、せせらぎ水路を維持した上で、歩行者の安全のため歩道を広げる
- せせらぎ水路は水を流さず維持する
- せせらぎ水路は埋めて歩道にする
- 将来にわたる維持管理費を考慮し、水路や緑地帯を撤去して歩道にする
- その他

【男女別】



※「その他」を選択した方の主な意見

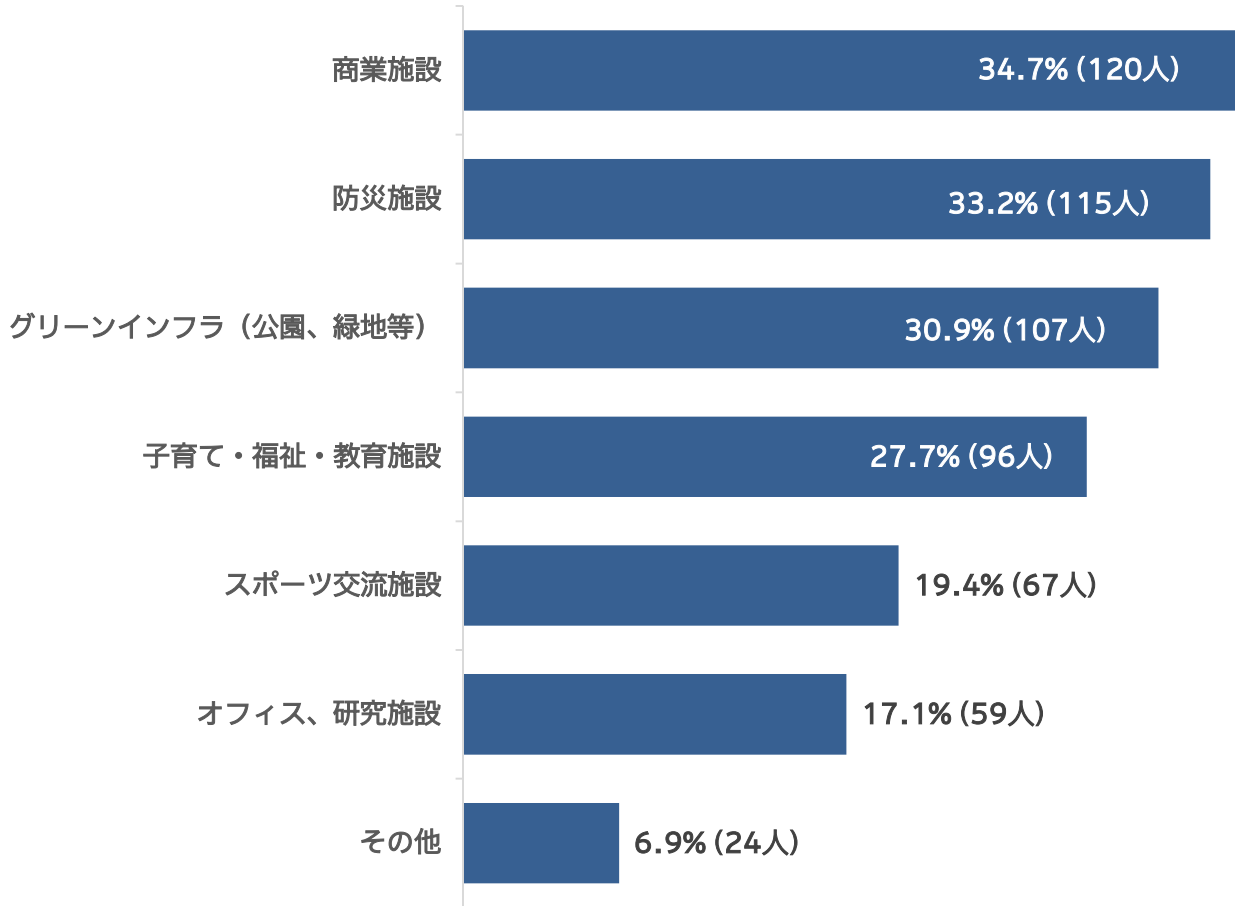
- ・自転車も通れるように広くしてほしい
- ・水は無くても緑地は残したい
- ・自然の流水で維持できないのであれば無理に流す必要はないと考える
- ・維持費がかからない水路にする
- ・どれくらいの利用者と活用が不明なので答えられない
- ・夏の暑さで散歩中に倒れる人が出ないように、ある程度の樹木のある歩道がよいのではないか
- ・二階建て水路（下は雨水下水、上は一見きれいに見える小川）をやめて、元々の雨水排水路に戻す
- ・自転車専用もつくってほしい
- ・せせらぎ水路沿線に面する方々と協議し、日常の維持管理（ごみや木の葉の撤去等）を出来るだけ依頼する
- ・費用がかかるのであれば歩道に変え、老朽化した下水道費用や、災害時の安全対策に費用を回してほしい

全体としてせせらぎ水路の維持管理について、せせらぎ水路を「維持する」を選択した方は65.6%、「埋めて歩道にする」「撤去して歩道にする」と回答した方は29.5%であった。
年代別では、最も「維持する」を選択した方が多かったのは10～20代（81.4%）、次いで70代（79.3%）、30代（71.7%）であった。
男女別では、「維持する」を選択した方は女性よりも男性の方が3.1ポイント高い結果となった。

第5章 上下水道事業について

問20 上下水道局では、郡山市下水道管理センター（郡山市横塚三丁目1-1）の敷地の一部（約1万㎡～1万5千㎡）について、資産利活用策を検討しています。どのような利活用策施設の誘致が有用だと思いますか？（2つ選択）

（回答者：346人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・横塚という場所柄、浸水被害地域なので防災施設が良い
- ・売却して市の収入にしてはどうか
- ・浸水被害が起きやすい地域なので自然のままにしておく
- ・全ての年代の市民がゆったり過ごせる施設

施設の誘致について、最も多かったのは「商業施設」（34.7%）、次いで「防災施設」（33.2%）、「グリーンインフラ」（30.9%）であった。

問21 問20で選択したものについて、理由をお書きください。（記述）

○ 「商業施設」を選択した方の主な意見

- ・ 娯楽施設を含む商業施設があると地域経済が動くと思う
- ・ 近隣市町村からも人が集まるような施設があれば街の活性化にもなるのではないか
- ・ 商業施設を併設することで、下水道事業への興味関心も啓蒙する
- ・ 駐車場も確保できるので、集客力のある飲食店があるといい
- ・ 駅東地区への人流誘導と商業エリア活性化のため

○ 「防災施設」を選択した方の主な意見

- ・ 異常気象への備えを優先すべきだと考えるから
- ・ 当該施設の立地は水害等の災害が発生しやすい地域のため
- ・ 防災についての意識を高めてもらうため

○ 「グリーンインフラ（公園・緑地等）」を選択した方の主な意見

- ・ 郡山駅東側にはそのような施設が少ないから
- ・ 立地が他の施設に向いていないように思うから
- ・ 広さが十分にあるから
- ・ 市中心部の貴重な緑地として活用したい

○ 「子育て・福祉・教育施設」を選択した方の主な意見

- ・ 子どもたちが水道について学びながら遊べる施設があってもいいと思います
- ・ 福祉、教育施設が不足していると感じるため
- ・ 子育てする方も高齢者も利用できる施設をつくれば、お互いの交流によって孤立する方を減らせるのではないか
- ・ 子どもの遊び場がいつも混み合っており使いにくいいため

○ 「スポーツ交流施設」を選択した方の主な意見

- ・ 市民が世代関係なく、気軽に利用できるものにしてほしい
- ・ 公的なスポーツ施設が駅の東側に少ないから
- ・ スポーツ団体は多いのに、施設が少ない

○ 「オフィス、研究施設」を選択した方の主な意見

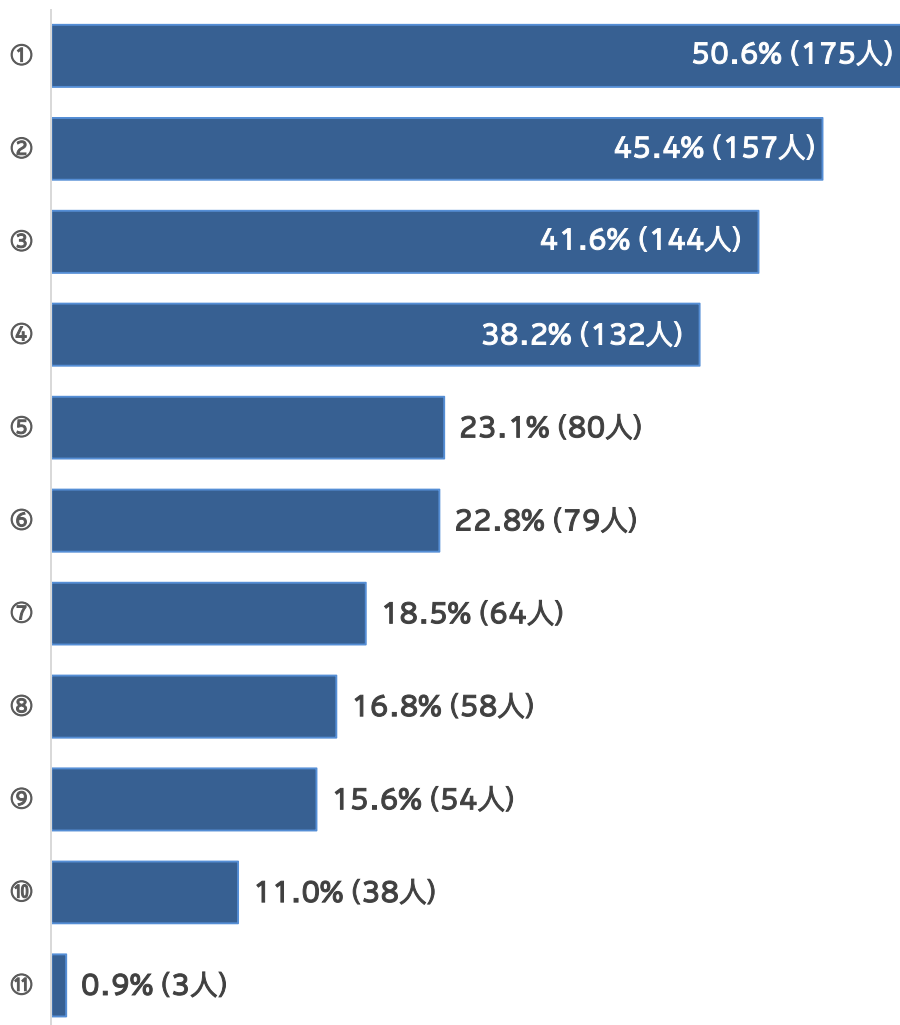
- ・ 市の経済発展のための企業誘致を進めてほしい
- ・ 企業からの収入で水質を守ってほしい
- ・ 企業を誘致して雇用促進を図ってほしい

○ その他意見

- ・ 水道局を生かした研究や事業、教育ができる施設が良い
- ・ 立地を考え複合型施設が望ましい
- ・ 少子高齢化問題に対応する子育て支援と健康維持のための施設が望ましい
- ・ ずっと存在する施設であってほしい

問22 郡山市上下水道局における次の事項のうち、ご存知のものをすべて選択してください。
(複数選択可)

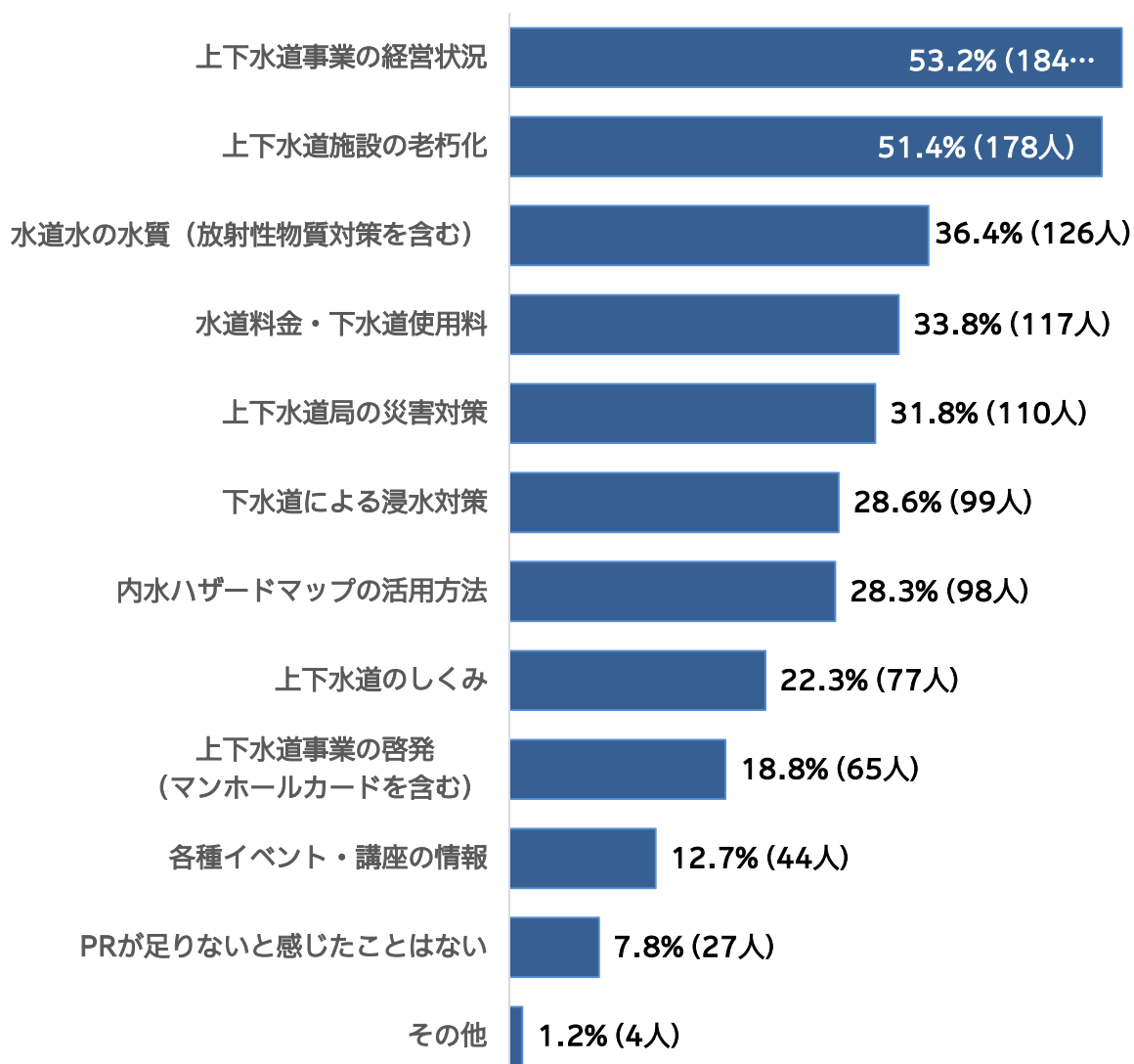
(回答者：346人)



- ① 上下水道事業は、利用者からいただいた料金で経費をまかなう独立採算の考え方で経営していること
- ② 市街地に降った雨水をすみやかに排除することも下水道の役割であること
- ③ 水道料金などがキャッシュレスで支払い可能なこと
- ④ 水道水はミネラルウォーターなどの食品衛生法による規格基準よりも厳しい検査基準が課せられていること
- ⑤ 郡山市の上下水道料金は、郡山市上下水道事業経営審議会で慎重に審議を重ねて決定していること
- ⑥ ゲリラ豪雨対策9年プランにより建設された雨水貯留施設が市内に5か所あること
- ⑦ 郡山市のマンホールカードを磐梯熱海観光物産館や湖南公民館で配布していること
- ⑧ 上下水道局の窓口サービスは、効率的運営を行うため、業務委託していること
- ⑨ 合併処理浄化槽の点検、修繕等の管理費と下水道使用料を比べると、一般的に下水道使用料の方が安いこと
- ⑩ すべて知らない
- ⑪ その他

問23 上下水道局が市民の皆さまに対してPRが足りないと感じるものをすべて選択してください。
(複数選択可)

(回答者：346人)

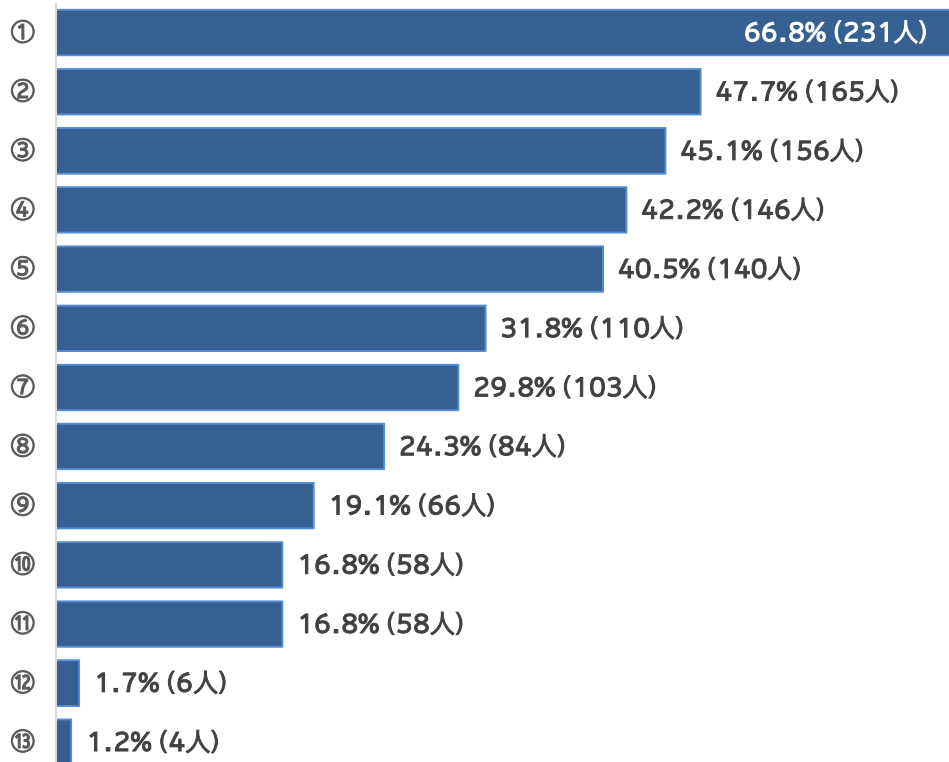


※「その他」を選択した方の主な意見

- 上下水道の本来の役割と防災時の役割は分けるべき、一緒にすると分かりにくくなる
- 郡山市の水道水が美味しいというPR
- 老朽設備の更新計画などを周知すべきでは

問24 今後、人口減少などにより水道事業経営は厳しくなることが予想されますが、上下水道局に対して期待することは何ですか？（複数選択可）

（回答者：346人）



- ① 安全な水道水が随時提供されること
- ② スマートフォンを活用して、毎月の使用料や料金が簡単に確認できること
- ③ 施設を適切に更新・維持管理していくこと
- ④ 適正な上下水道料金が設定されること
- ⑤ 災害対策（給水、速やかな復旧）を行うこと
- ⑥ 耐震化など災害に強い施設の整備を行うこと
- ⑦ 水道水源を保全するための活動を継続していくこと
- ⑧ 資産の利活用等による料金外収入の確保を図ること
- ⑨ 雨水貯留施設の設置など浸水対策の強化を図ること
- ⑩ AI、ICT活用等により手続きの利便性が向上すること
- ⑪ メールマガジンやLINEで上下水道情報が定期的に提供されること
- ⑫ その他
- ⑬ 期待することはない

※ 「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 料金の確実な収納と収納にかかる手間などのコスト削減
- ・ 隣接する自治体と広域での運営の検討
- ・ 財源を他から確保すべき
- ・ 外資等の一般企業が管理することが絶対無いように
- ・ 窓口（特に料金）接客技術の向上
- ・ 上下水道の整備の歴史を、深く知ってもらうこと

○ 水道水について

- ・安全な水道水はありがたい。(60代・女性)
- ・適正な料金で安全な水を確保していただきたい。(80代・男性)
- ・ライフラインとして最も重要な水なので、将来にわたって安定的に供給されるように維持管理をしていただきたいと思います。一般市民の費用負担はやむを得ないと思います。(40代・男性)
- ・水源確保については、SDGs活動と絡めて広くボランティアなどを活用出来ればいいと思います。(40代・男性)
- ・電気代と比較したら安価で、昔より水が美味しい。(50代・女性)
- ・震災で水道が出なかった時に水の大切さを痛感しました。水を大切にしていきたいと思います。安心して飲料できる水をお願いしたいです。(40代・女性)
- ・他県の方にも言われるし他市県へ行くとなお実感しますが、とっても美味しいと自慢できる水道水です。いつも安心安全に努力されている方々に感謝申し上げます。(40代・女性)
- ・水道水に入れる薬品の開示をホームページ等でしてほしい。(40代・女性)

○ 水道料金・下水道使用料について

- ・水道料金が高くなっている方へのアドバイス(原因)などのアナウンスがあればいい。(50代・男性)
- ・水道料金の安い市町村と比べて、どこにコストがかかってしまうのか、そのコストが妥当なのかを市民に理解してもらう必要があると思います。これは、今後郡山市が市外からの居住者を増やすためにも必要な取り組みだと思います。(40代・男性)
- ・市民の中には、市が財政難の時には、 unnecessary経費等に関しては削減をせず、水道料金を値上げして補うという運営方法しかしないと未だに不満に思っている人達も少なくはありません。そういったところの改善や値上げに必要な理由のアピール等をした方が良いのではないのでしょうか？(40代・女性)
- ・設備の維持に費用がかかるのは理解できますが、出来る限り水道料金の値上げをしない努力をしていただけると助かります。(30代・男性)
- ・人口の密集地、過疎地を一律料金体系にしないで、過疎地の方が高くなる様な受益者負担を料金体系に組込んで貰いたい。(70代・男性)

○ その他

- ・単純に料金が高いとばかり思っていたのですが、誤解していたところがありました。アンケートを通じて勉強になりました。(40代・女性)
- ・住んでいるところに上下水道きていないので、各自で浄化槽設置やポンプを使用して暮らしているので、けっこう大変です。もっと自分のこととして上下水道を考えていくことが必要ですね。(40代・女性)
- ・日本の水道、下水道は、世界一だと思います。いつも、ありがたく思っています。今後とも安全な水質をよろしく願いいたします。(60代・女性)
- ・水道料金メーターをデジタル化にして検針にかかる費用を抑えたり、安全性や料金、エコ活動啓蒙のためにアプリなどで楽しく上下水道について学べたり出来るともっと関心を持ってもらえるのではないかと思います。(50代・女性)
- ・上下水道は命にかかわることなので、高い優先事項で取り組んでほしい。もちろん安いに越したことはないのですが、料金の見直しもお願いしたい。せせらぎ小道は汚い印象で、メンテナンスしやすく改良すべき。(50代・男性)
- ・新築の際に、下水道に接続できない地区に新築の補助金がないのは、少し残念。湖南だけでなく他の接続できない地区も助けてほしい。(40代・女性)